



あいちサイエンスフェスティバル2013

<https://aichi-science.jp/>

2013 9/28(土)~11/4(祝) 愛知県全域で開催!



実施報告書

「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの構築」事業報告書
独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)
科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」

目次

目次	2
あいちサイエンスフェスティバルとは／開催システム（ネットワーク）	3
あいちサイエンスフェス・コミュニケーション・ネットワーク／3年の歩み	4
年間スケジュール／開催概要	5
2大拠点で連続メインイベント	6
グランドクロージング	10
情報センター特別展	11
ネットワーク18 機関イチオシ	12
さかえサイエンストーク	16
あいちサイエンス・コミュニケーション・セミナー／年間カリキュラム	22
ネットワーク18 機関のイベント	23
プレ企画／交流企画	35
一般企画参加団体のイベント	36
グルメスタンプラリー	38
プレ企画とポスト企画	39
「国際植物の日」月間	40
ポスト企画リスト／サイエンスイラストレーション企画	44
体感week2014／サイエンストークをやる会／コム&アート／Honmono Project／サイエンスカフェ支援・研究者、運営、会場マッチング	45
ロゴ、ウェブサイト、メルマガ、広報印刷物、同梱サービス	46
謝辞・収支報告・実行委員会	47

あいちサイエンスフェスティバルとは

「JST ネットワーク形成地域型」の支援を受け、愛知県で 2011 年からスタートした秋のサイエンスイベント月間。トップサイエンティストによる週例メインイベント「先端科学技術と社会」と、名古屋の中心街・栄で平日に毎夜開催した気軽な対話型イベント「さかえサイエンストーク」の二つを中心企画として名古屋大学が開催しました。その上で、県内 18 機関で形成している「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の参加機関によるサイエンスイベントが集合。さらに、ウェブサイトから様々な企画参加団体によるサイエンスイベントを登録していただきました。

あいちサイエンスフェスティバル 2013

会 期：2013 年 9 月 28 日（土）～2013 年 11 月 4 日（月・祝）
 会 場：愛知県全域
 主 催：国立大学法人名古屋大学
 共 催：愛知県、蒲郡市

開催目的

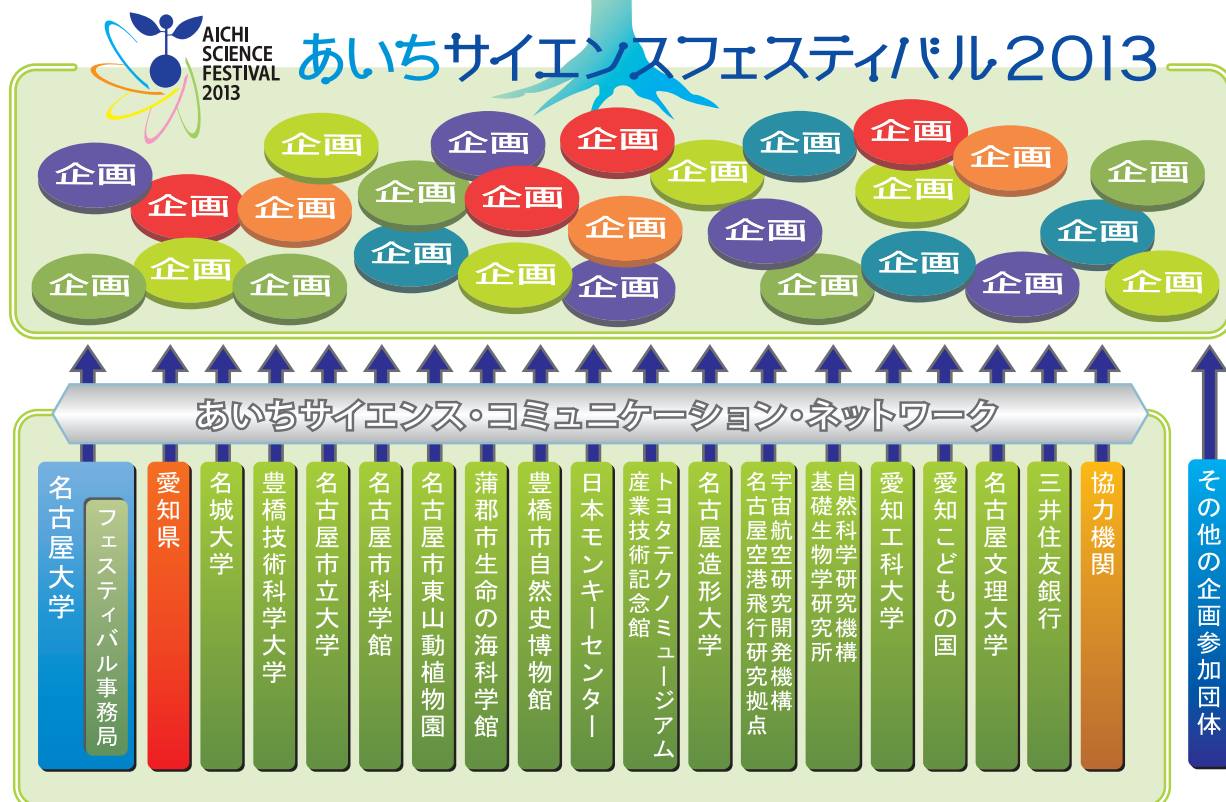
ひろく愛知県内で、
サイエンスへの興味と関心を喚起し、
人々の交流と議論の場を生み出す。

来場者数 105,033 人

企画参加団体数 30

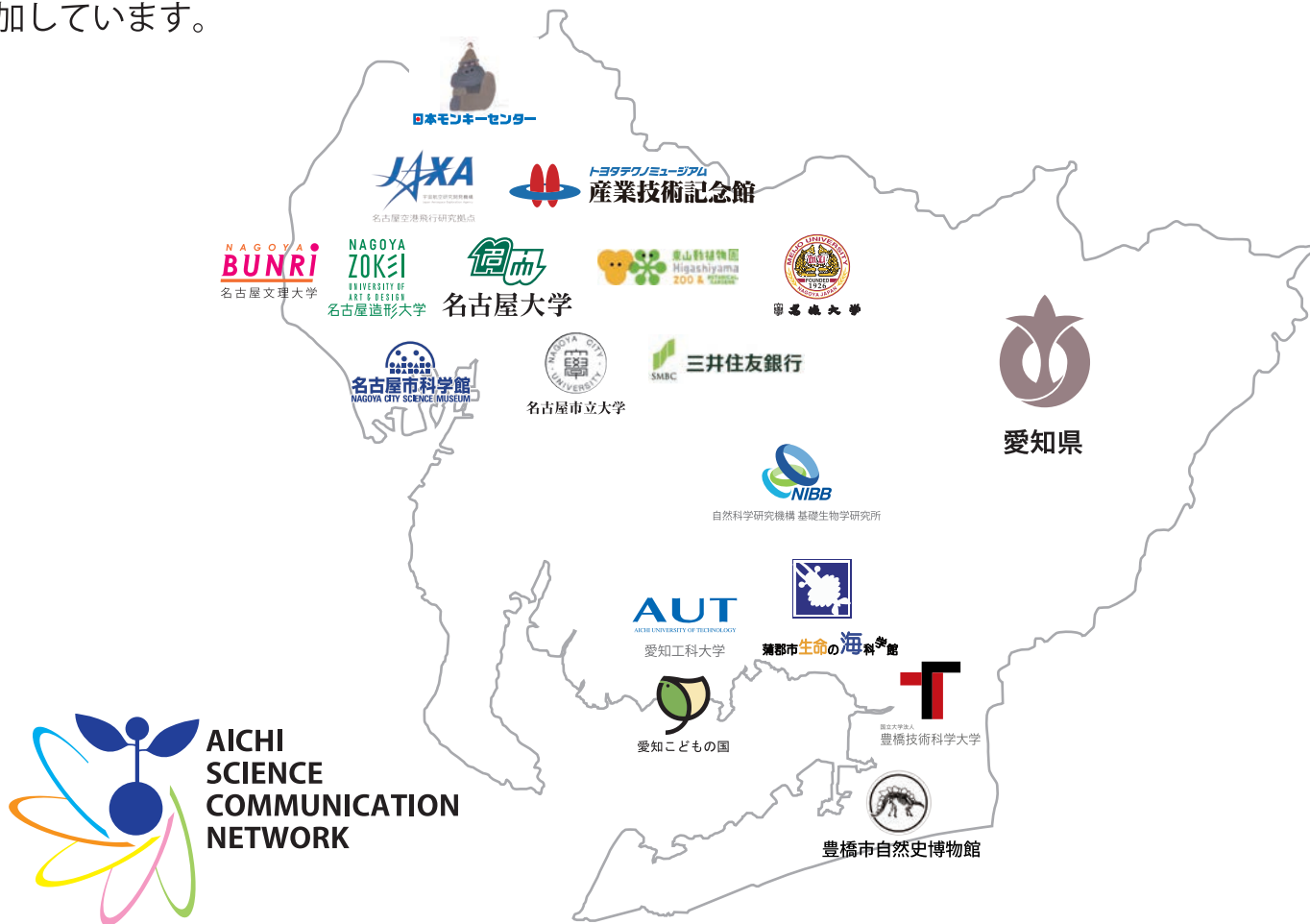
サイエンスイベント数 150

(2014. 3. 10 現在集計値)



あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

名古屋大学は 2011年度より、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」を受け、「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の構築を進めています。愛知県内の高等教育研究機関、科学館、科学系博物館、社会教育施設が参加。サイエンスコミュニケーション連携を推進し、サイエンスイベント情報をウェブで発信しています。現時点では下の 18 機関が参加しています。



3年のあゆみ

初年度（平成 23 年度）から継続参画の実施機関 11 機関に加えて、第 2 年度（平成 23 年度）に 4 機関、第 3 年度（平成 25 年度）4 月より 3 機関が新たに参加機関となり、最終的には全 18 実施機関となりました。運営機関と各機関との連携はサイエンストーク活動を中心に実施し、あいちサイエンスコミュニケーション・セミナーと重ねあわせる形で進行しています。また、ネットワーク形成により別の形態の連携活動も行われるようになりました。サイエンスイラストレーション展示の取り組み、体験会の取り組み、宇宙空間からの映像撮影の取り組みなど、ネットワーク上のネットワークといった形で連携が進みました。今まで交流連携がなかった機関どうし、担当者が顔見知りといったレベルの機関どうしの連携活動が開始されたのは、地域ネットワークが構築された成果といえます。それぞれの参加機関、協力機関等の特性・所在地を生かす形で、重層的なネットワークの形成が進んでいる状況です。

特に、三河部会、キュレーター部会に参画している実行委員は、不定期ながら懇親会を開催しており、人的ネットワークの深化が進んでいます。キュレーター部会では本事業で準備した電子投票機（リアルタイム・アンケート装置）を活用した新プロジェクトを計画中であり、本ネットワークによる新たなサイエンスコミュニケーション・プロジェクトの形成が進んでいるといえるでしょう。

年間スケジュール

JST科学コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」（あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの構築）による3か年度の全体計画にもとづき、次の4つの活動を推進しています。

- ①ネットワーク構築と情報収集・発信拠点の設立
- ②サイエンス・コミュニケーターの育成
- ③サイエンス・コミュニケーションの場としくみの提供
- ④ロングテール型科学コミュニケーションモデルの開発

第3年度の2013年度は次のとおりの日程で活動を実施しました。

4/29	あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー 2013 開講開始
4/28～6/16	あいち「国際植物の日」月間
6/2～6/16	STS29 宇宙科学と宇宙技術の国際シンポジウム・アウトリーチ連携活動
10/17～10/22	サイエンスイラストレーション展（三井住友銀行SMB Cパーク栄）
9/28～11/4	あいちサイエンスフェスティバル 2013

開催概要



あいちサイエンスフェスティバル2013

NW中心企画 提案機関	毎週土曜午後 スター科学者・技術者が登場する講演会等
事務局企画 運営機関	平日毎夜 若手・中堅研究者等のライトサイエンスカフェ
NW機関企画 実施機関	各種サイエンスイベント参加企画 自機関でウェブ表示承認可能
参加企画 協力機関	各種サイエンスイベント参加企画 JST事務処理要領から外れているが協働
参加企画 企画参加団体	各種サイエンスイベント参加企画 ウェブ登録を運営機関が承認
一般参加者	主に受容側で参加する個人

あいちサイエンスフェスティバル2013

市民向け講演会 先端科学技術と社会 / あいちサイエンスフェスティバル2013 in 蒲郡

2大拠点で連続メインイベント

市民向け講演会 先端科学技術と社会 **名古屋市** ～ 21世紀の日本と名古屋大学～ わたしたちの時代・若者の未来



フェスのグランドオープニング企画で講演を行う濱口名大総長

開催日時：2013年9月28日（土）14:00-16:00
開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄（名古屋市中区錦3丁目25-20）
講師：濱口道成（国立大学法人名古屋大学 総長）
あいちサイエンスフェスティバル開幕宣言
：内木幸宏氏（三井住友銀行 SMBC パーク 栄 支配人）
司 会：吉田千穂氏（名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室リサーチ・アドミニストレーター）

名古屋大学

あいちサイエンスフェスティバル 2013 のグランドオープニング講演会として、名古屋大学の濱口総長が講演しました。地方分権時代の大学の責務とグローバル化時代に求められる人材育成について、豊富な資料をもとに語りました。

<https://aichi-science.jp/1129>



三井住友銀行の内木支配人がネットワークを代表してフェス開幕を宣言

あいちサイエンスフェスティバル2013 in 蒲郡・オープニング・レクチャー **蒲郡** はやぶさ2 ～ 海と生命の源を目指して ～



講演会の風景

開催日時：2013年9月28日（土）14:00-15:30
開催場所：蒲郡市生命の海科学館
講師：渡邊誠一郎氏（「はやぶさ2」プロジェクト サイエンティスト / 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授）
司 会：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）

蒲郡市

はやぶさ2のプロジェクトサイエンティストを務める渡邊氏が、「はやぶさ」、「はやぶさ2」の最新の情報について講演しました。小惑星やその物質についても詳しく解説し、あいちサイエンスフェスティバルの蒲郡開幕イベントを飾りました。

<https://aichi-science.jp/1169>



あいちサイエンスフェスティバル 2013 in 蒲郡 蒲郡 アノマロ宇宙へ行く!～宇宙から地球を観てみよう 2013～ 成果報告シンポジウム



開催日時：2013年10月6日（土）14:00-15:30
 開催場所：蒲郡市生命の海科学館（愛知県蒲郡市港町17-17）
 講師：佐原 理 氏（名古屋文理大学 情報文化学部 情報メディア学科 助教）
 坪木 和久 氏（名古屋大学 地球水循環研究センター 教授）
 挨拶：川上昭吾氏（蒲郡市生命の海科学館 館長）
 司会：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）

シンポジウムの風景。地球の美しさに感動



気象観測気球に載せた iPhone が地上 10 キロの宇宙に到達。平成 24 年の ASF2012 と JA2012 の連携企画として始まり、ASF2013 と ISTS29 の連携企画として達成した成果を披露しました。坪木氏が地球の大気構造を解説したあと、佐原氏がプロジェクトの展開を説明。会場全員で美しい地球の姿に息をのみました。

<https://aichi-science.jp/1258>



講師の佐原氏及び坪木氏が成果報告

市民向け講演会 先端科学技術と社会 蒲郡 ～宇宙、人間、素粒子～



講演する小柴平和基礎科学財団理事長

開催日時：2013年10月12日（土）14:00-16:00
 開催場所：蒲郡市民会館（愛知県蒲郡市栄町3-30）
 講師：小柴昌俊 氏
 （平成基礎科学財団理事長 東京大学特別荣誉教授 2002年ノーベル物理学賞）
 主催者挨拶：國枝秀世氏（名古屋大学理事・副総長）
 共催者挨拶：稲葉正吉氏（蒲郡市長）
 司会：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）

2002年ノーベル物理学賞を受賞した小柴氏が、自身の研究人生とサイエンスに取り組む心構えについて語りました。ニュートリノの検出できる仕組みをわかりやすく解説したうえ、会場からの質問に丁寧に答えてくれました。

<https://aichi-science.jp/1131>



挨拶する稲葉蒲郡市長

市民向け講演会 先端科学技術と社会 **名古屋市** ～ 科学技術で拓くあいちの未来 ～ 産業、暮らしの姿 ～



講演する大村愛知県知事

開催日時：2013年10月26日（土）14:00-16:00
 開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄（名古屋市中区錦3丁目25-20）
 講師：大村秀章氏（愛知県知事）
 挨拶：國枝秀世氏（名古屋大学 理事・副総長）
 司会：武田穰氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 連携推進部長・教授）



愛知県における独自の科学技術施策を知事がみずから講演。前半では、航空宇宙工業や自動車工業の集積、愛・地球博跡地に建設された知の拠点あいちなどを紹介。後半では2階ギャラリーに設置した実物展示ブースを参加者全員が見学。愛知県の各研究施設の担当者が知事講演内容を詳しく説明しました。

<https://aichi-science.jp/1133>



成果展示ブースも大盛況

あいちサイエンスフェスティバル2013 in 蒲郡・講演会 **蒲郡** 放射光とは ～ イトカワ微粒子の分析にも活躍 ～



開催日時：2013年11月2日（土）14:00-15:30
 開催場所：蒲郡市生命の海科学館
 講師：中尾裕則氏
 （大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK） 准教授）

講演会の風景



材料開発から惑星科学まで幅広い研究に利用されている放射光について、分かりやすく解説して頂きました。また、終了後には、皆様の疑問に一つずつご回答いただきました。 <https://aichi-science.jp/1174>



市民向け講演会 先端科学技術と社会 **名古屋市** ～生物多様性の今～ COP10 “愛知ターゲット” とあいち生物多様性戦略 2020



山本進一氏が生物多様性戦略を詳しく解説

開催日時：2013年11月2日（土）14:00-16:00（開場13:00）
開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄（名古屋市中区錦3丁目25-20）
講師：山本進一氏（岡山大学理事・副学長、名古屋大学名誉教授
あいち生物多様性2020推進委員会委員長）
挨拶：藤島芳昭氏（愛知こどもの国 所長）
司会：藤吉隆雄氏（名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教）



2010年の第10回生物多様性条約締約国会議 COP10 で決議された愛知ターゲットの意義を生物多様性の背景から説明。その実現のため愛知県が独自に推進する「あいち生物多様性戦略 2020」の計画と現状について紹介。活動の意義と周知について会場と活発な議論を展開しました。<https://aichi-science.jp/1135>



会場との討論でも多様な取り組みの紹介と問題点の指摘

あいちサイエンスフェスティバル2013

市民向け講演会 先端科学技術と社会 / あいちサイエンスフェスティバル2013 in 蒲郡

グランドクロージング

市民向け講演会 先端科学技術と社会

名古屋市

～人類に残された未踏のフロンティア・深海底下の世界～
地球深部探査船「ちきゅう」による新たな挑戦



開催日時：2013年11月4日（月）14:00-16:00（開場13:00）
開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄（名古屋市中区錦3丁目25-20）
講師：東 垣氏（海洋研究開発機構 地球深部探査センター長）
司会：戸次真一郎氏（名古屋大学 URA）
冒頭挨拶：景山節氏（名古屋文理大学 学長）
フェス閉幕宣言：松井成之氏（三井住友銀行 SMBC パーク 栄）

地球深部探査船の構造から深海底下の生物多様性まで幅広く紹介した東氏

あいちサイエンスフェスティバル2013のグランドクロージング企画として海洋研究開発機構からのゲストを迎えた講演会を開催。今回初の試みとして、名古屋からインターネット映像中継を受信する会場を愛知県外にも設置。愛知県内の蒲郡市生命の海科学館、北海道の函館市青年センターの2会場でも同時に聴講しました。講演は、まず海洋研究開発機構の紹介からスタート。地球掘削船「ちきゅう」が海上の一点に静止しているメカニズムや掘削ドリルのしくみを詳しく解説。海底より下の地盤にいる微生物と鉱物資源の状況を詳しく説明して最新の研究成果を披露したほか、実際の調査でわかってきたことを下敷きに今後のエネルギー政策についても語りました。

<https://aichi-science.jp/1137>



2013年参画した名古屋文理大学学長もフェスの意義を確認

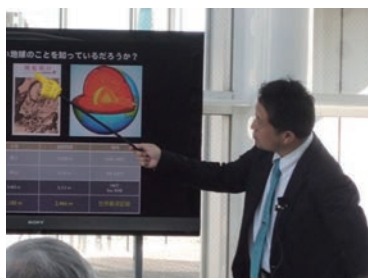
名古屋大学

クロージング・サテライト企画

蒲郡サテライト中継会場

蒲郡

開催日時：2013年11月4日（月）13:45-16:30
開催場所：蒲郡市生命の海科学館
講師：倉本真一氏（独立行政法人 海洋研究開発機構 地球深部探査センター企画調整室次長）
司会：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）



倉本氏が独自に準備した資料によるトークも展開

蒲郡サテライト会場では、名古屋での講演会の視聴が終わったあとに倉本氏とのディスカッションを実施。そののち、参加者から、中継不調時に倉本氏が準備してきた資料を見たいとの声があがり、蒲郡独自のサイエンストークで盛り上がりました。

<https://aichi-science.jp/1403>

函館サテライト中継会場

函館

開催日時：2013年11月4日（月）13:45-16:30
開催場所：函館市青年センター
講師：紀藤典夫氏（北海道教育大学函館校 教授）
司会：金森昌作氏（公立はこだて未来大学 特別研究員、はこだて国際科学祭コーディネーター）



はこだて国際科学祭が初の愛知県外サテライト設置

名古屋での講演会を函館で生中継、地学が専門の北海道教育大学函館校・紀藤典夫教授の解説で講演会を聴講しました。中継終了後は、プレートテクトニクスや地函館地域の地質のことなど、函館会場の質問に紀藤教授が答えてイベントを展開しました。

<https://aichi-science.jp/1405>

栄地区情報センター特別展

2013年09月25日(水)～2013年09月30日(月)

<https://aichi-science.jp/1238>

マリー・キュリー業績ポスター展

開催場所：三井住友銀行 SMBCパーク 栄 2階イベントギャラリー
(愛知県名古屋市中区錦 3-25-20)



サイエンスコミュニケーション地域拠点交流活動として展開しているマリー・キュリー業績ポスター展を名古屋市の栄地区で開催しました。あいちサイエンスフェスティバル 2013 会期直前から開催し、フェスの情報センターとして設置。マリ・キュリー氏の業績を振り返るほかに、フェス参加企画の広報チラシを入手できる窓口として運用しました。

2013年10月02日(水)～2013年10月14日(月)

<https://aichi-science.jp/1240>

五箇公一と仲間たちイラスト展「虫マニア」

開催場所：三井住友銀行 SMBCパーク 栄 2階イベントギャラリー
(愛知県名古屋市中区錦 3-25-20)



出展者：五箇公一氏(国立環境研究所 首席研究員)、山口芽衣氏、蟲郎氏
あいちサイエンスフェスティバル 2011 のプレ企画に五箇氏がゲスト登場したのを契機に、サイエンスビジュアライゼーション企画群の一環として同氏を中心とした 3 名グループによる虫のCGイラスト展示を開催しました。

2013年10月17日(木)～2013年10月22日(火)

<https://aichi-science.jp/1242>

サイエンスイラストレーションの世界展

開催場所：三井住友銀行 SMBCパーク 栄 2階イベントギャラリー
(愛知県名古屋市中区錦 3-25-20)



2011年、2012年と米ジョンズ・ホプキンス大学医学部修士課程医療アート専攻より講師を招いて、サイエンスイラストレーションのサマースクールを開催しました。その成果を引き継ぎ、同大学、カナダ・トロント大学のサイエンスイラストレーション大学院教授陣、在米イラストレーター奈良島知行氏らの作品を展示しました。

2013年10月28日(月)～2013年11月04日(月)

<https://aichi-science.jp/1244>

振り返り展示「国際植物の日 2013 日本での活動」

開催場所：三井住友銀行 SMBCパーク 栄 2階イベントギャラリー
(愛知県名古屋市中区錦 3-25-20)



5月18日に世界50か国以上で同時展開した「国際植物の日」について、愛知県内を中心に日本国内での活動を振り返りました。各活動について一枚の報告ポスターを展示。11月2日(土)には、日本国内コーディネーターが説明に立ち、同日同所で開催の市民向け講演会と連携して開催しました。

蒲郡拠点特別展

2013年09月28日(土)～2013年11月04日(月)

<https://aichi-science.jp/1170>

一般社団法人日本地質学会共催事業 写真展「第4回 惑星地球フォトコンテスト 入賞作品展」

開催場所：蒲郡市生命の海科学館(愛知県蒲郡市港町17-17)



国際惑星地球年(2007-2009年)を契機に始められた、ユネスコおよび国際地質科学連合による「惑星地球フォトコンテスト」。私たちの惑星「地球」をテーマにした写真コンテストの最高峰の入賞作品を展示しました。見学者は生命の惑星・地球の多様なすがたに驚いていたようです。

名市大特別展

2013年09月17日(火)～2013年10月11日(金)

<https://aichi-science.jp/1168>

サイエンスイラストレーション展示会 「サイエンスイラストレーションの世界展」

開催場所：名古屋市立大学 芸術工学部ギャラリー
(名古屋市千種区北千種 2-1-10)



米ジョンズ・ホプキンス大学とカナダ・トロント大学のサイエンスイラストレーション大学院教授陣、在米イラストレーター奈良島知行氏らの作品を展示しました。学内ギャラリーを再整備し約100点を展示。北千種キャンパスの公開行事日程を含む形で開催し、在学生のみならず学外の一般の方にもご覧いただきました。

ネットワーク18機関イチオシ企画

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークが、フェス期間中に行われたネットワーク18機関のサイエンスイベントから、いち押しのイベントをピックアップしてみました。



名古屋大学イチオシ

第9回名古屋大学ホームカミングデイ 学術講演「世界を変えるバイオ分子」

開催日時：2013年10月19日（土）10:00-12:20

開催場所：名古屋大学 東山キャンパス シンポジオン
（名古屋市中種区不老町）

基調講演：下村 脩（ウッズホール海洋生物学研究所特別上席研究員、
ポストン大学名誉教授、名古屋大学特別教授）

講演：伊丹健一郎
（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授、拠点長）
吉村 崇（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授）



下村脩特別教授からの講演の後、伊丹健一郎教授、吉村崇教授による講演が行われました。老若男女を問わず多くの人で賑わい、総勢400人ほどの聴衆が集まりました。講演中は会場に笑顔が溢れる場面も多く、終始和やかな雰囲気でした。来場者からは「研究者としての熱意に感動した」などの声も聞かれ、大盛況のうちに終わりました。 <https://aichi-science.jp/1179>

名城大学イチオシ

西区生涯学習センター公開企画講座 「銀河鉄道の夜の謎を探る～宮沢賢治は自然と生き物の命をどう考えていたか～」

開催日時：2013年10月17日（木）10:00-12:00

開催場所：名古屋市西区生涯学習センター
（名古屋市西区浄心1丁目1番45号）

講演：川勝 博（名城大学総合数理教育センター長・教授）



宮沢賢治は、エコロジーの視点で、日本で最初に童話を書いた人です。人の命と生物の命はつながっている。生物は他の生物の命を奪わないと生きていけないが、捧げてもある。川勝教授は、この壮大な生命のドラマの意味を話しました。
<https://aichi-science.jp/1295>

愛知県イチオシ

「知の拠点あいち」研究プロジェクト 一般公開デー2013

開催日時：2013年9月28日（土）13:30-16:00

開催場所：あいち産業科学技術総合センター
（豊田市八草町秋合 1267-1）



「知の拠点あいち」で行っている最先端の研究プロジェクトについて、一般県民の方にわかりやすく説明し、日頃立ち入ることができない研究室を公開しました。研究室では、研究者が、これまでの研究成果について、実演を交えて紹介しました。また、小学生以下のお子様を対象とした「キッズプログラム」も好評でした。 <https://aichi-science.jp/1438>

名古屋市立大学イチオシ

サイエンスイラストレーション展示会 「サイエンスイラストレーションの世界展」

開催日時：2013年9月17日（土）～10月11日（金）9:00-17:00
（土日休を除く、ただし10月5日（土）は開催）

開催場所：名古屋市立大学 芸術工学部ギャラリー
（名古屋市中種区北千種 2-1-10）



米ジョンズ・ホプキンス大学とカナダ・トロント大学のサイエンスイラストレーション大学院教授陣、在米イラストレーター奈良島知行氏らの作品を展示しました。学内ギャラリーを再整備し約100点を展示。北千種キャンパスの公開行事日程を含む形で開催し、在学生のみならず学外の一般の方にもご覧いただきました。
<https://aichi-science.jp/1168>



名古屋市科学館イチオシ

青少年のための科学の祭典 2013 名古屋大会

開催日時：2013年10月5日（土）～2013年10月6日（日）9:30-17:00
 開催場所：名古屋市科学館地下2階サイエンスホール
 （名古屋市中区栄2丁目17番1号）



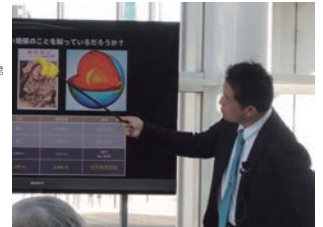
約50の実験ブースやサイエンスショーで、工作を作ったり、実験をしたりと楽しい1日でした。

<https://aichi-science.jp/1285>

蒲郡市生命の海科学館イチオシ

クロージング・サテライト企画 市民向け講演会「先端科学技術と社会」 蒲郡サテライト中継会場 「未踏のフロンティア・深海底下の世界 ～地球深部探査船「ちきゅう」の新たな挑戦～」

開催日時：2013年11月4日（月）13:45-16:30
 開催場所：蒲郡市生命の海科学館
 講演：倉本真一氏（独立行政法人 海洋研究開発機構（JAMSTEC）
 地球深部探査センター企画調整室次長）



名古屋で開催されたフェス・グランドクロージング講演会を蒲郡会場で受信し、サテライトゲストとともに聴講しました。サテライトでは地球のことや地球深部探査船「ちきゅう」について詳しいお話を頂きました。また、最新の研究についてもご紹介頂きました。さらに、たくさんの質問にも答えて頂きました。
<https://aichi-science.jp/1403>

東山動植物園イチオシ

新アジアゾウ舎ゾージウムオープン記念・ 平成25年度 動物講演会 「珍獣？霊獣？そして動物へ～日本にゾウが来た！～」

開催日時：2013年11月3日（日）13:15-15:00
 開催場所：名古屋市東山動物園 動物会館（レクチャーホール）
 講演：植松有希（長崎歴史文化博物館・研究員）



ゾウの日本人のかかわりについて、日本美術におけるゾウの変遷から講義をいただきました。新しいアジアゾウ舎ではゾウにまつわる様々な展示が施されており、歴史や人との関係も学ぶことができます。その「ゾージウム」オープン記念講演ということもあって多くの聴講者の参加がありました。

<https://aichi-science.jp/1306>

豊橋市自然史博物館イチオシ

第9回自然史博物館自由研究展

開催日時：2013年10月12日（土）～11月4日（月）
 開催場所：豊橋市自然史博物館
 （豊橋市大岩町字大穴 1-238）



豊橋市自然史博物館

豊橋市内の小中学生が行った自由研究から、主に生物・地学をテーマにした優れた作品を展示、表彰しました。今年度は、小学校49校から135点、中学校19校から50点が集結。10月19日（土）に、入賞作品の表彰式と最優秀賞の受賞者による一人5分の研究発表を行いました。全作品を11月4日（日）まで展示しました。
<https://aichi-science.jp/1421>



日本モンキーセンターイチョン

日本モンキーセンター所長 市川光雄 講演会 「アフリカの食文化」

開催日時：2013年10月20日(日) 13:30-14:30
 開催場所：日本モンキーセンター世界サル類動物園内 ビジターセンター
 (犬山市大字犬山官林 26)
 講演者：市川光雄氏
 (財団法人日本モンキーセンター 所長)



長年アフリカ各地をフィールドとして研究活動をおこなってきた市川所長による、アフリカの食文化をテーマとした講演会を開催しました。アフリカの多様な食文化の話に、参加者は興味深く聞き入っていました。 <https://aichi-science.jp/1179>

名古屋造形大学イチョン

メナード美術館・名古屋造形大学公開講座 「患者さんにやさしいデザイン(インフォメディカルウェア)」

開催日時：2013年10月19日(土) 14:00-15:20
 開催場所：メナード美術館
 (小牧市小牧 5-250)
 講演者：渡邊敏之氏 (名古屋造形大学教授 情報デザイナー・ディレクター)



名古屋造形大学公開講座「患者さんにやさしいデザイン(インフォメディカルウェア)」が開催されました。患者さんが抱く病気や手術の不安を、子どもの頃なれしたしんだ可愛いイラストレーションやアニメーションを用いて説明する事で、分かりやすく視覚的に理解できます。お医者さんと患者さんとのコミュニケーションツールとしての新しい提案となる講座となりました。 <https://aichi-science.jp/1303>

産業技術記念館イチョン

ふわふわの、ひみつ。タオルとタオル織機展

開催日時：2013年9月28日(土) 9:30-17:00 (入場受付 16:30まで)
 開催場所：産業技術記念館
 (名古屋市西区則武新町 4-1-35)



タオルの歴史や織り方を映像や模型を用いて紹介し、「タオルのことがよくわかった」と来場者に好評でした。
<https://aichi-science.jp/1250>

基礎生物学研究所イチョン

基礎生物学研究所 一般公開 2013 「体感! 最先端バイオの世界」

開催日時：2013年10月5日(土) 9:30-17:00
 開催場所：基礎生物学研究所山手地区、岡崎コンファレンスセンター
 講演会：14:00-14:40「環境でオスとメスが決まるミジンコとワニの性の仕組み」井口泰泉教授
 14:40-15:20「知られざる植物細胞の世界」
 15:20-16:00「微生物で探る生命継承の仕組み」
 体験実験：「DNAを見てみよう!」※ウェブでの事前申し込み制
 特別企画：「サイエンストーク「研究者に聞いてみよう!」
 生き物の不思議」
 いきものスタンプ・クイズラリー



基礎生物学研究所一般公開では「体感! 最先端バイオの世界」をテーマに最新の生物学研究を紹介し、1400名余りの来場者を迎えました。最新成果の展示や講演会、サイエンストークでの交流に加えて、生き物クイズラリーや、遺伝子解析の体験実験などの企画が人気を集めました。 <https://aichi-science.jp/1440>



愛知工科大学イチョシ

AUT文化講演会 「カラスが導いてくれた万葉集」

開催日時：2013年10月13日（日）11:00-
開催場所：愛知工科大学AUTホール（ホール棟3階）
（愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2）

講演：瀧美守久氏
（愛知こどもの国自然博物館館長 カラスの弁護人）



愛知こどもの国で取り組んできたカラスの糞の研究について紹介しました。54種類の木の種子を確認し、カラスは自然林再生の主役である等突き止め、カラスの弁護人と呼ばれるようになったと説明。さらに、手作りの竹笛やタラヨウの葉が手紙の原点であることなどを実践して紹介しました。
<https://aichi-science.jp/1301>

三井住友銀行 SMBCパーク 栄イチョシ

SMBCパーク栄サイエンスセミナー 「ダニが語る生物多様性」

開催日時：2013年10月8日（土）13:30-15:00
開催場所：三井住友銀行 SMBCパーク 栄

講演：五箇公一氏
（国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 主席研究員）



ダニは未発見のものも含めれば100万種は超えると推定されており、この地球上の生態系にはなくてはならない生物である事実を紹介。生殖のために処女ダニを奪い合う雄ダニの生態から、殺虫剤への耐性が高まっていく話まで幅広くダニと生物多様性について語りました。
<https://aichi-science.jp/1284>

名古屋文理大学イチョシ

アノマロ宇宙へ行く！ ～宇宙から地球を観てみよう2013～ 成果報告シンポジウム

開催日時：2013年10月6日（土）14:00-13:30
開催場所：蒲郡市生命の海科学館
（愛知県蒲郡市港町17-17）

講演：佐原 理 氏（名古屋文理大学 情報文化学部 情報メディア学科 助教）
坪木和久 氏（名古屋大学 地球水循環研究センター 教授）



気象観測気球に載せたiphoneが地上10キロの宇宙に到達。平成24年のASF2012とJA2012の連携企画として始まり、ASF2013とISTS29の連携企画として達成した成果を披露しました。坪木氏が地球の大気構造を解説したあと、佐原氏がプロジェクトの展開を説明。会場全員で美しい地球の姿に息をのみました。
<https://aichi-science.jp/1258>

愛知こどもの国イチョシ

愛知こどもの国大学 開校式&第0回だいがく祭

開催日時：2013年10月26日（土）～2013年10月27日（日）
開催場所：愛知こどもの国（中央広場）
（愛知県西尾市東幡豆町南越田3番地）

10/26（土）11:00-12:00 開校式
13:00-16:00 だいがく祭1日目
10/27（日）10:00-15:45 だいがく祭2日目



愛知こどもの国を活用した継続的事業の1つとして、園内を大学キャンパスと見立てた事業「愛知こどもの国大学」の開校式&第0回だいがく祭を行った。塩づくり、チーズづくり、漬物づくり、畳づくり等の体験ブースを設け、子どもたちに生活の中にある科学を身近に感じられるプログラムを提供しました。
<https://aichi-science.jp/1291>

SAKAE ScienceTalk

さかえサイエンストーク

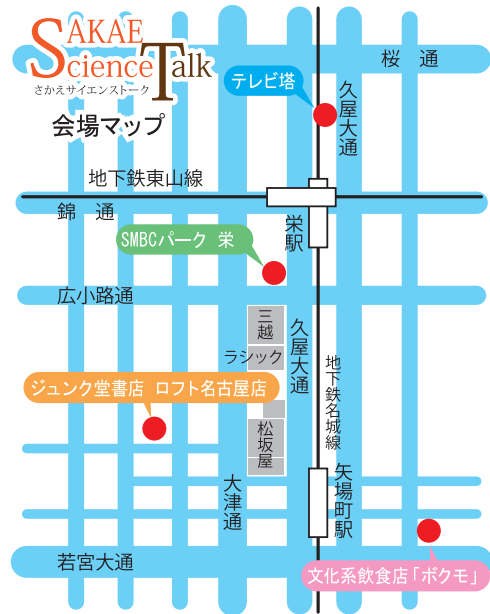
科学技術をはじめ、ものづくりやカルチャーまで、広くサイエンスの話題を取り上げた専門家との交流イベント。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、平日に毎夜開催しました。舞台は、名古屋の中心栄地区にある展望台、書店、飲食店、銀行イベントスペースの曜日変わり会場。週ごとのテーマを設定し、各分野の若手から中堅を中心としたゲストが、参加者とのトークに花を咲かせました。双方向コミュニケーションに電子投票機を利用するなどの試みも行なっています。

【各回共通事項】

- ◎開催時間 18:30-20:00 (18:00 開場、途中入退場可)
- ◎当日先着 30 名程度
- ◎参加費 無料 ※1※2
 - ※1 名古屋テレビ塔会場は展望台入場料 (エレベーター料金) が必要 (割引標記のあるフェスのチラシ等の提示で会期中は展望台入場料 100 円割引)。
 - ※2 ポクモ会場では 1 品以上の飲食注文が必要。

【開催場所】

- 名古屋テレビ塔スカイデッキ
名古屋市中区錦 3-6-15 テレビ塔スカイデッキ
- 三井住友銀行 SMBC パーク栄
愛知県名古屋市中区錦 3-25-20
- ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン
名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F ブックサロン
- 文化系飲食店「ポクモ」
名古屋市中区栄 5-26-39 GS 栄ビル B1



サイエンストークをやる会と学芸員の日替わりファシリテーター説明

あいちサイエンスフェスティバル 2013 で開催したさかえサイエンストークでは多様な市民に一般参加いただくだけでなく、運営にも参加していただきました。まず、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員である実施機関の学芸員が、あいちキュレーターズ week のファシリテーターとして登場 (日本モンキーセンター、豊橋市自然史博物館、蒲郡市生命の海科学館、名古屋市科学館、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館)。さらに蒲郡市生命の海科学館学芸員は北海道大学総合博物館との連携サイエンストークのファシリテーターも担当しました。今年度はのべ 3 名のダブルネーム企画共催者からのファシリテーターも登場 (名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室、NPO 法人くらしとパイオプラザ 21、サイエンス・サポート函館)。さらに、あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー受講者のサークルであるサイエンストークをやる会メンバーがのべ 15 名、ファシリテーターを担当しました。また、はこだて国際科学祭の同様なサークルである科学楽しみ隊からもファシリテーターとして北海道から参加しています。そのほかの係の運営スタッフとしてもサイエンストークをやる会のメンバーは参加しており、市民によるサイエンスコミュニケーション活動の輪が、あいちサイエンスフェスティバルで広がっています。

ダブルネーム企画説明

あいちサイエンスフェスティバル 2013 では、サイエンスコミュニケーション活動主体どうしのコラボレーションに取り組みました。特にサイエンスカフェを継続的に開催している主体と、互いのノウハウを交換する意図をもってサイエンストークを共催。ファシリテーターとして参加してもらい、その実践エッセンスを共有しました。月一回、名古屋市内で名大カフェを開催している名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室、東京でパイオカフェを継続的に実施している NPO 法人くらしとパイオプラザ 21、はこだて国際科学祭で科学夜話を展開しているサイエンス・サポート函館と連携。さかえサイエンストークの開催システムも体験してもらい、相互理解を深めました。この交流の成果として、はこだて国際科学祭ではサイエンスボランティア組織である科学楽しみ隊がサイエンスカフェ支援パッケージを採用。実際に函館市内で開催しているサイエンスカフェで活用しています。



函館ではサイエンスカフェ支援パッケージにより自家用車のないスタッフでも運搬可能に

あいちメディカル week

2013年10月2日(水)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1188>

鍼(ハリ)は本当に効くのか?

ゲスト：高倉伸有氏(東京有明医療大学 鍼灸学科 学科長・教授)

ファシリテーター：今井早希氏(名古屋大学研究員、あいちSCセミナー受講者)



鍼の理論はどうなっているか、そしてそれがプラセボ効果ではないと証明するべく開発したブラインド鍼を紹介。世界から注目されて国際共同研究も行っていること、動物実験ではすでに鍼の効果は測定されていることなどを解説。実際に鍼をうってみるミニ体験も行いました。



名古屋大学

2013年9月30日(月)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/1184>

「脂肪由来幹細胞を用いた新規治療法の開発」

ゲスト：丸山彰一氏(名古屋大学 医学系研究科 腎臓内科 准教授)

ファシリテーター：寺島彰氏(名古屋大学学生、

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー受講者)



あいちサイエンスフェスティバル 2013 におけるさかえサイエンストーク連続開催 25 回の初回に名大病院の丸山氏が登場。脂肪のもつ不思議な働きを詳しく説明し、新たな治療法確立に向けた展望も語りました。



名古屋大学

2013年10月3日(木)

文化系飲食店「ボクモ」

<https://aichi-science.jp/1190>

「家族を介護する人の健康としあわせを考えよう」

ゲスト：堀谷子氏(ケアラーサポート研究会 代表、名古屋大学 医学系研究科 元教授)

ファシリテーター：酒井裕介氏(あいちSCセミナー受講者)



高齢社会の現代日本では、要介護者を在宅ケアする人「ケアラー」をサポートする必要性がある事実を紹介しました。堀氏の研究結果にもとづき、ケアラーの多くが健康問題を抱えている事実と、その支援への社会システムを整える必要を解説しました。また、健康体操を参加者全員で体験し会場が一体となるサイエンストークとなりました。



名古屋大学

2013年10月1日(火)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1186>

薬剤師が語るくすりのひみつ

ゲスト：北市清幸氏(新岐阜薬科大学 薬学部 教授 (2013/10/01~))

ファシリテーター：西野慎祐氏(あいちSCセミナー受講者)



薬剤師の立場から様々な薬の基礎知識を解説。そのうえで、実験映像を使って薬剤の溶解試験を紹介。実物を溶かしてみる簡易実験も行い、飲みやすい薬への取り組みの成果を参加者で実感しました。



名古屋大学

2013年10月4日(金)

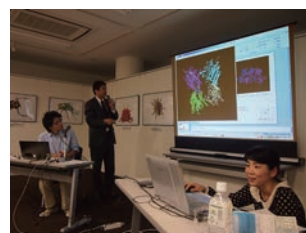
三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/1194>

「虫歯予防に有効なレクチン」

ゲスト：今村幸治氏((株)医学微生物学研究所 診断薬開発部 プロジェクトリーダー)

ファシリテーター：寺島彰氏(名古屋大学学生、あいちSCセミナー受講者)



虫歯の基礎知識からスタートし、レクチンを活用すると虫歯予防ができる事実とそこから広がる創薬研究について紹介しました。歯垢が虫歯菌の上にとまっていく事実などをちゃんと理解したかをクイズで確認して終了しました。



名古屋大学

あいちキュレーターズ week

week コーディネーター：杉森順子(愛知工科大学 准教授)

2013年10月7日(月)

<https://aichi-science.jp/1196>

愛知県民が滅ぼした昆虫たち ～東海地方の生物多様性の危機～

ゲスト：長谷川道明氏(豊橋市自然史博物館 学芸専門員)
ファシリテーター：高野智氏(日本モンキーセンター 主任学芸員)



杉森氏がキュレーター weekの趣旨を冒頭で説明。その後、長谷川氏が愛知県を中心とした東海地方の昆虫相の特徴を紹介しました。そのうえで、生物多様性の変化から絶滅の危機に瀕している昆虫、愛知県から絶滅してしまった昆虫について、その捕獲事例の経年データをもとに詳細に解説しました。



愛知工科大学



日本モンキーセンター



豊橋市自然史博物館



名古屋大学

2013年10月8日(火)

<https://aichi-science.jp/1198>

隕石ってにおうんです!? ～顕微鏡で見る宇宙～

ゲスト：山中敦子氏(蒲郡市生命の海科学館 学芸員)
ファシリテーター：長谷川道明氏(豊橋市自然史博物館 学芸専門員)



隕石を分析すると何がわかるのかを解説。顕微鏡で観察すると宇宙のなりたちがわかるとの説明から、小惑星探査機はやぶさにより実際にサンプル採集に行く意義などを系統だてて説明しました。実際に隕石をこすって宇宙の臭いのようなモノを感じる趣向もあり、参加者みなで宇宙を体験しました。



愛知工科大学



豊橋市自然史博物館



蒲郡市生命の海科学館



名古屋大学

2013年10月9日(水)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1200>

生命科学を“展示”する ～生物学の新時代へ!～

ゲスト：尾坂知江子氏(名古屋市科学館 主任学芸員)
ファシリテーター：山中敦子氏(蒲郡市生命の海科学館 学芸員)



名古屋市科学館の生命館展示の歩みと、海外の科学館の生命展示を比較して解説。生命科学の進歩と科学館の展示の変化の関係を紹介しました。サイエンスを伝えることの意義と魅力、可能性について幅広く語りました。



愛知工科大学



蒲郡市生命の海科学館



名古屋市科学館



名古屋大学

2013年10月10日(木)

<https://aichi-science.jp/1202>

日本のモノづくりのルーツを探る ～先人たちの知恵と工夫～

ゲスト：木村雅人氏(トヨタテクノミュージアム産業技術記念館 学芸企画グループ グループリーダー)
ファシリテーター：尾坂知江子氏(名古屋市科学館 主任学芸員)



大学で講義している内容をダイジェストし、日本のものづくりの歴史を紹介。江戸時代からくり人形から近代の自動織機まで、しくみが良くわかる動画をふんだんに使って説明。トヨタ・グループの歴史も絡め、制御技術という観点から解説しました。



愛知工科大学



名古屋市科学館



産業技術記念館



名古屋大学

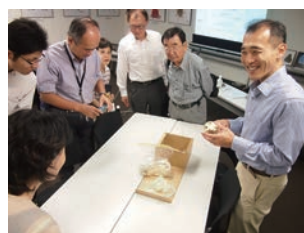
2013年10月11日(金)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/1204>

動物園は博物館? ～標本が支える生物学～

ゲスト：高野智氏(日本モンキーセンター 主任学芸員)
ファシリテーター：木村雅人氏(トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館 学芸企画グループリーダー)



動物園という形態の成立過程から考えて、動物園が博物館の一形態である事実からトークを開始。混同されがちな日本モンキーセンター、日本モンキーパーク、京大霊長類研究所の成立史を紐解き、霊長類学研究所の歴史と方法を詳しく紹介。霊長類の骨格実物標本の観察も行い、動物園の博物館機能について考える機会になりました。



愛知工科大学



産業技術記念館



日本モンキーセンター



名古屋大学

あいちバイオ・環境 week

2013年10月16日(水)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1210>

思春期と大人の“ニキビ”を知ろう! ～原因から治療法まで～

ゲスト：赤松浩彦氏（藤田保健衛生大学 医学部応用細胞再生医学 教授）
ファシリテーター：古田央哲氏（元・名古屋大学サイエンス・コミュニケーター）



ニキビのできるメカニズムについて詳しく説明。ニキビをつぶす時に細胞を破壊するとニキビ跡ができること、細胞を破壊しなければ跡が残らないことなどを解説。ニキビは皮膚科を受診すべき疾病でもあることに参加者一同が驚くトークとなりました。



名古屋大学

2013年10月14日(月)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1206>

「蒲郡発! 宇宙から地球を観る ～気象観測バルーンで飛んだiPhone～」

ゲスト：坪木和久氏（名古屋大学 地球水循環研究センター 教授）
佐原理氏（名古屋文理大学 情報メディア学部 助教）
ファシリテーター：戸次真一郎氏（名古屋大学 URA）



宇宙を体感しました。

iPhone を気象観測気球に載せ宇宙からの撮影に成功した映像を披露するイベントを蒲郡に続き名古屋でも開催しました。坪木氏が地球の大気構造を説明したのち、佐原氏が宇宙到達までの歩みを紹介。参加者一同で



2013年10月17日(木)

文化系飲食店「ボクモ」

<https://aichi-science.jp/1212>

テントウムシの羽と模様学ぶ

ゲスト：新美輝幸氏（名古屋大学 生命農学研究科 助教）
ファシリテーター：笹原悟氏（サイエンス・サポート函館・科学楽しみ隊）



農薬の可能性について解説しました。

テントウムシの羽の形成と模様がわかるメカニズムについて最新研究を紹介しました。羽を作り出す分子を特定して作り出した羽のないテントウムシなどの実例を紹介。害虫を食べるテントウムシが一か所にとどまる生物



名古屋大学

2013年10月15日(火)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1208>

博物館から街へ飛び出す実物標本! ～トランクキットで学ぶ分類学と生物多様性～

ゲスト：菊田 融氏（北海道大学 総合博物館 学術研究員・CISE ネット担当）
ファシリテーター：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）



北大総合博物館の運営するJST 地域ネットワークのヒグマとサケの体験トランクを体験。これを活用したイベントの様子や、標本を扱える人材を養成するパラタクソノミスト講座を紹介しました。



名古屋大学

2013年10月18日(金)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/1214>

「ハエから学ぶ“愛の歌”を感じるしくみ」

ゲスト：上川内あづさ氏（名古屋大学 理学研究科 教授）
ファシリテーター：太田航（名古屋大学博士課程院生、あいちSCセミナー受講者）



ショウジョウバエの研究により脳の機能の解明がどの程度すすんでいるかを解説しました。音を持つ意味を理解する仕組みを知る研究の概要を説明し、その最新成果を紹介しました。



名古屋大学

あいちものづくり week

2013年10月23日(水)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1220>

“コモパン”がおいしく長持ちする秘密

ゲスト：榊剛弘氏 ((株) コモ 製造部長)
 ファシリテーター：陽菜ひよ子氏 (イラストレーター、あいちSCセミナー受講者)
 写真撮影：宮田雄平氏 (プロカメラマン、あいちSCセミナー受講者)



愛知県小牧市に本社と工場を持つコモパンを紹介。通常の市販品とは違う、イタリア原産のパネトーネ種を使ったパンの製法と特徴を解説。保存料が無添加ながら数か月の長期保存が可能のため、東日本大震災などで海上自衛隊により運搬され活用された事例などを紹介しました。



名古屋大学

2013年10月21日(月)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/1216>

香りや音で自動車事故を防ぐ未来技術!

ゲスト：荒川俊也氏 (愛知工科大学 工学部 准教授)
 ファシリテーター：森優輝氏 (愛知淑徳大学学生、あいちSCセミナー受講者)



交通事故を防ぐ技術にはどんな可能性があるかについて考えました。運転者の状態を検知するシステムからの情報により警告を与えるのみならず、運転者の意識に働きかけて事故を防止する研究について紹介。立体音響

と香りによる取組を解説しました。



2013年10月24日(木)

文化系飲食店「ボクモ」

<https://aichi-science.jp/1222>

「電子顕微鏡で見る「原子」の世界、「電場」と「磁場」の世界」

ゲスト：山本和生氏 (一般財団法人ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所 主任研究員)
 ファシリテーター：近藤さゆり氏 (IGA 世話人、あいちSCセミナー受講者)



陶磁産業の集積地である愛知ならではのファインセラミックセンターの取り組みを説明。ホログラフィック電子顕微鏡の原理とそれによりみられる原子レベルの電場と磁場の世界を詳しく解説。新たなシンクロトロン施設「知

の拠点あいち」が設立された裏話など現場にいる当事者ならではのトピックも紹介しました。



名古屋大学

2013年10月22日(火)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1218>

「生活を豊かにする世界一硬く汚れない人工歯」

ゲスト：酒井孝英氏 (山八歯材工業 (株) 研究開発部課長)
 ファシリテーター：玉井克幸氏 (名古屋大学 URA)



愛知県蒲郡市からゲストが登場。歯科治療で使うさまざまな材料の使い方と特徴を詳しく解説しました。特に同社独自技術による世界一硬い人工歯の必要な意味も紹介。実際に歯科治療で型を取る際に使う材料の急速な経時変化も参加者全員で体感しました。



名古屋大学

2013年10月25日(金)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/1224>

病とくすり～古から未来へ

ゲスト：森田宏氏 (内藤記念くすり博物館長)
 ファシリテーター：佐々義子氏 (NPO 法人くらしとバイオプラザ21 常務理事)



古代 4 大文明での薬の発祥から薬の歴史を紹介。遣唐使で日本に入ってきた漢方医療の進化と、産業革命によるペニシリン創製等を対照し、薬の機能と可能性を考えました。おもに東京で実施しているバイオカフェとのダブルネーム企画として開催しました。



名古屋大学

あいち環境・生物多様性 week

2013年10月30日(水)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1232>

生物多様性の3つの切り口「生態系・種・遺伝」 ～街角ビオトープから世界の海まで～

ゲスト：横田幸雄氏（愛知県立大学 名誉教授）

ファシリテーター：村松哲二氏（浜島書店編集部長、あいちSCセミナー受講者）



横田氏が取り組んできたウニやヒトデを中心とした研究を端緒に、生物多様性の3つの様相である、生態系の多様性、種の多様性、遺伝的多様性を説明しました。テンポ良いトークで、愛知県立大で取り組んだ街角ビオトープから世界の海の事例まで多くの事例を紹介しました。



名古屋大学

2013年10月28日(月)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/1228>

お庭も街もビオトープ ～生き物たちの喫茶店～

ゲスト：長谷川明子氏（ビオトープ・ネットワーク中部会長）

ファシリテーター：朝日宏和氏（べちゃくちやナイト名古屋代表、あいちSCセミナー受講者）



生物多様性の意味とそれを広げるビオトープの可能性について語りました。大規模駐車場の片隅で卵から生まれる鳥の例や外来種の法的規制が景観に与える影響など、身近で感じられる生物多様性を紹介。目にする多くの植物が実は外来種である事実と、保全すべき多様性の関係についても考えました。



名古屋大学

2013年10月31日(木)

文化系飲食店「ボクモ」

<https://aichi-science.jp/1234>

「地域と企業と人を緑で結ぶ ～命をつなぐPROJECT～」

ゲスト：北村秀行氏（日本エコロジスト支援協会 理事・事務局長）

ファシリテーター：水上貴裕氏（名古屋大学修士課程院生、あいちSCセミナー受講者）



知多半島の臨界工場地帯で行われている、各社敷地内の緑地に動物が通れるコリドーを作る活動を紹介します。スタートの経緯から大学生を中心とした活動の現状、広報誌の編集を通じた情報発信まで幅広く解説。

工場のフェンスをほんの少し抜け穴を開くだけでコリドーができた成果を紹介しました。



名古屋大学

2013年10月29日(火)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1230>

「高速道路と生物多様性」

ゲスト：大岩春仁氏（中日本高速道路株式会社 環境・技術部 環境チーム サブリーダー）

ファシリテーター：サスラー裕央氏（名古屋学院大学学生、あいちSCセミナー受講者）



NEXCO 中日本の環境への取り組みを紹介しました。数々の植生への影響量が少ない工法を解説。なくなった植生をいち早く復元する技法の説明では、実際につかう法面緑化植物を参加者全員で観察。生物多様性に配慮したエコロードを詳しく説明しました。



名古屋大学

2013年11月1日(金)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/1236>

アジアの氷河マップづくり ～秘境の氷河を人工衛星で探る～

ゲスト：坂井亜規子氏（名古屋大学大学院環境学研究所・特任助教）

ファシリテーター：金森昌作氏（公立はこだて未来大学 特別研究員、はこだて国際科学祭コーディネーター）



はこだて国際科学祭との交流企画として開催。アジア高山域の氷河マップ作成のトークを展開。氷河ができて移動するメカニズム、氷河マップ作成の手法と難しさなどを紹介。2台のプロジェクターとスクリーンにより、説明用スライドと実際の氷河マップを映し出して説明しました。



名古屋大学

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー

平成 25 年度セミナー開講の概要

【開講目的】

- ・サイエンスコミュニケーションとは何かを知り、サイエンスの意味を考える。
- ・サイエンスコミュニケーションの小規模かつ基本的な活動である「サイエンスカフェ」を実践できる基礎能力を獲得する。
- ・サイエンスを議論し、サイエンスを介して交流する仲間の輪を広げる。
- ・あいちサイエンスフェスティバル 2013 の年間活動を楽しみ行動する。

【開講形式】

- ・座学系セミナーと活動系セミナーの 2 系統を開講する。
- ・座学系セミナーは、講義、実習、見学モジュールからなり、主にサイエンスコミュニケーションの知識を獲得する場とする。土曜日午後を中心に開講する。
- ・活動系セミナーは、体験、実践モジュールからなり、主にサイエンスコミュニケーションの活動の輪に参加する契機とする。あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの各種活動に参加を指定する形式で提供する。

2013 年 10 月 5 日 (土)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1144>

「日本の科学技術政策」

ゲスト：原 克彦氏 (名古屋大学研究推進室副室長・教授、前・文部科学省量子放射線研究推進室長)



文部科学省の担当と思われがちな科学技術政策について、内閣府や総合科学技術会議をはじめとした多くの省庁で科学技術関係の予算が組まれている事実から解説。それらの予算がどのような法律等を根拠に編成されるか、実際のタイムスケジュールを参照して説明。政策の変化や金額も増加などを豊富なデータで紹介しました。

2013 年 10 月 4 日 (金)

名古屋大学 ベンチャービジネスラボラトリー 3 階 ベンチャーホール

<https://aichi-science.jp/1142>

「法人化で変わる国立大学経営」

ゲスト：高田邦昭氏 (群馬大学 学長)



名大の URA 研修を開放指定した【講義 (アドバンス)】科目を初開講。大学が設置されている法律的根拠から説き起こし、法人化による新旧制度の比較や任期制教職員の生涯年収の問題など、多角的に大学を取り巻く状況を説明。受講者からの質問への解決策を一緒に考えました。

2013 年 10 月 11 日 (金)

名古屋大学 インキュベーション施設 205 会議室

<https://aichi-science.jp/1146>

「今後のエネルギー政策の方向」

ゲスト：福水健文氏 (日本アルコール産業株式会社代表取締役副社長、元・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 副理事長、元・中小企業庁長官)



通商産業省出身の講師が日本のエネルギー政策の概要と今後の展望を解説しました。東京電力福島第一原発事故の結果としての課題も含め、日本のエネルギー安全保障政策を考えるディスカッションも展開しました。

2013 年 10 月 5 日 (土)

名古屋市長立大学芸術工学部講堂

<https://aichi-science.jp/1176>

「サイエンスイラストレーション入門—北米のサイエンスイラストレーション教育プログラムを中心に—」

ゲスト：田中佐代子氏 (筑波大学 芸術系 准教授)



北米のサイエンスイラストレーション教育プログラムを中心とした講演会を開催しました。北米で標準化されている修士課程のほか、アメリカ、カナダ、日本のイラストレーター作品も紹介し、サイエンスイラストレーションの魅力と可能性を紹介しました。講演の後は希望者で学内に展示されたサイエンスイラストの実物を鑑賞しました。

2013 年 10 月 25 日 (金)

名古屋大学 インキュベーション施設 205 会議室

<https://aichi-science.jp/1148>

「バイオテクノロジーをめぐるリスクコミュニケーション」

ゲスト：佐々義子氏 (NPO 法人くらしとバイオプラザ 21 常務理事)



バイオテクノロジーを事例にリスクコミュニケーションについて考えました。平時のサイエンスコミュニケーションとリスクコミュニケーション、危機時のクライシスコミュニケーションについて、遺伝子組換え技術やクローン技術などでの事例と工夫を学びました。

年間カリキュラム

セミナーの修了基準

平成 25 年 5 月 8 日・実行委員会確認 / 平成 26 年 2 月 26 日最終版

モジュール名	提供ポイント数		修了基準ポイント数	モジュールの目的	備考
	過年度提供済	今年度予定			
講義 S	3	8	1	サイエンスの知識を獲得/再確認する	講義 (アドバンス) を算入可
講義 C	10	14	2	サイエンスコミュニケーションの手法と課題を知る	講義 (アドバンス) を算入可
講義 (アドバンス)	0	4	0	研究支援・産学官連携のプロの世界を垣間見る	専門職研修で受講を受け入れ
実習	19	8	2	サイエンスコミュニケーション活動の手法を獲得する	実習 (リメディアル) を 1 ポイントまで算入可
実習 (リメディアル)	0	2	0	コミュニケーション活動の基盤となる基礎技能を補強する	0.5 ポイント科目
見学	2	1	0	サイエンスの現場/実物に触れる	
体験	52	71	2	サイエンスコミュニケーション活動の受容側の視点を獲得する	ネットワークの活動を指定する
実践	98	194	2	サイエンスコミュニケーションの実践能力を獲得する	ネットワークの活動を指定する
合計	184	302	10	※1 ポイント分のモジュール分類は問わない	

・基準を満たした者の申請によりポイント獲得状況を確認し修了証を授与する。平成 23 年度から平成 25 年度の受講を合算して修了を申請できる。

・修了 (見込み) 者のサイエンストーク活動に対して運営機関スタッフが機材支援を実施する。

ネットワーク18 機関のイベント

あいちサイエンスフェスティバルは、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携活動として開催しています。ネットワーク18実施機関が主催または関与するサイエンスイベントが参加企画として集まり、愛知県全域で展開。フェス主催の名古屋大学も、ネットワーク中心企画「先端科学技術と社会」とフェス事務局企画「さかえサイエンストーク」以外は、参加企画としてサイエンスイベントを登録しています。



2013年9月28日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1427>

①ボランティアガイドツアー

※動植物公園入園料が必要

自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



豊橋市自然史博物館

2013年9月28日(土)～11月4日(月・祝)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1170>

③一般社団法人日本地質学会共催事業

写真展「第4回 惑星地球フォトコンテスト 入賞作品展」



あいちサイエンスフェスティバル全会期38日間、「第4回 惑星地球フォトコンテスト」の入賞作品を展示。期間中、多くの方に見学して頂きました。



蒲郡市生命の海科学館

2013年9月29日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1171>

②JAXA コズミック・カレッジ ファンダメンタルコース

講師：竹内翔平氏（三菱電機株式会社 宇宙システム事業部 宇宙営業第一部）



午前の部と午後の部と多くの方にご参加いただきました。人工衛星の役割やしくみ、また大気と真空について、学んで頂くことができました。



蒲郡市生命の海科学館

2013年10月4日(金)～10月5日(土)

名古屋立大学

<https://aichi-science.jp/1260>

④秋の薬草園の市民公開



157名の方々にご参加いただきました。今回は、アオダモに含まれるクマリン配糖体による青い蛍光を見ていただき、植物を使った実験の体験もしていただきました。薬草園で栽培したハーブを使ったハーブティーも試飲していただきました。



名古屋立大学

ネットワーク18 機関のイベント

2013年10月5日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1429>

⑤ ボランティアガイドツアー

※動植物公園入園料が必要

自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



豊橋市自然史博物館

2013年10月5日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1425>

⑥ 電子顕微鏡公開日「貝殻を見る」

※動植物公園入園料が必要

走査型電子顕微鏡により貝殻を拡大して観察し、その秘密を探りました。



豊橋市自然史博物館

2013年10月5日(土)

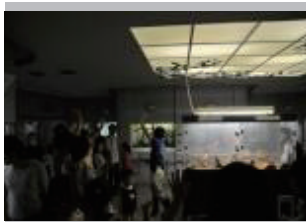
名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1314>

⑦ アニマルトークリレー アニマルトークリレー (は虫類)

14:30~

※動植物公園入園料が必要



動物園スタッフがは虫類について説明しました。皆さん楽しんだようです。



東山動植物園 Higashiyama Zoo & Botanic Garden

2013年10月5日(土)

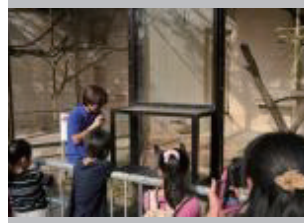
名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1312>

⑧ アニマルトークリレー (サル舎A棟)

14:30~

※動植物公園入園料が必要



動物園スタッフがサル舎A棟について説明しました。皆さん楽しんだようです。



東山動植物園 Higashiyama Zoo & Botanic Garden

2013年10月5日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1310>

⑨ アニマルトークリレー (ホッキョクグマ)

14:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがホッキョクグマについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



東山動植物園 Higashiyama Zoo & Botanic Garden

2013年10月5日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1308>

⑩ アニマルトークリレー (小鳥とリスの森)

13:30~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフが小鳥とリスの森について説明しました。皆さん楽しんだようです。



東山動植物園 Higashiyama Zoo & Botanic Garden

2013年10月6日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1454>

⑪光のふしぎをさぐる

講師：豊橋エコサイエンスクラブ 伊丹和彦氏
(豊橋市立小沢小学校 校長)



光の不思議をたくさん体験しました。回折格子を作ったり、紫外線ペイントで絵もかいたりしました。



2013年10月6日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1316>

⑭ボタニカルトーク

～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～

植物園スタッフが「花の“かたち”に秘めた花の想い」と題して植物に関わるお話をしました。実際に花を観察することを通じて楽しく学んでいただけました。



2013年10月6日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1320>

⑫アニマルトークリレー (エミュー)

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがエミューについて説明しました。皆さん楽しんでようです。



2013年10月10日(木)

名ポートメッセなごや

<https://aichi-science.jp/1458>

⑮TECH Biz EXPO 2013 学術研究技術シーズ発表会

名古屋大学および連携機関・企業の研究担当者



3つのセッションを通して、約200名の方が参加しました。参加者の多くは、愛知県、岐阜県、三重県で、ものづくりに携わっており、研究開発のヒントを得ようと講演に聞き入っていました。聴衆者の中には、名古屋大学の産学共同によるシーズ紹介を目的の当りにして、予定時間が終了したにもかかわらず、演者に直接質問する方々も多く見られました。演者と聴衆者が意見を交換することで、お互いに刺激を受けた実りあるイベントとなりました。



2013年10月6日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1318>

⑬アニマルトークリレー (アジアゾウ)

動物園スタッフがアジアゾウについて説明しました。皆さん楽しんでようです。



2013年10月12日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1442>

⑯ゴム動力カー GP (グランプリ) 開催!!

14:00~15:00

講師：戒田正敏氏 (蒲郡市教育委員会)



ゴムで動く車作りを行い、どれだけ長く走ることができるか挑戦しました。



ネットワーク機関のイベント

2013年10月12日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1431>

⑰ボランティアガイドツアー

※動植物公園入園料が必要

自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



豊橋市自然史博物館

2013年10月13日(日)

名古屋市科学館

<https://aichi-science.jp/1289>

⑳走査型電子顕微鏡を体験してみよう ～入門講座(第6回)

12:15～14:45

電子顕微鏡専門家



中学生～社会人までの参加者があり、約2時間半で走査型電子顕微鏡のしくみと試料製作、観察を体験しました。



名古屋市科学館

2013年10月13日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1444>

⑱小学校高学年向け定例講座(5・6年生)理科実験室 地球と生物の歴史～酸素をつくった生物～

12:00～15:00

浅井インタープリター(蒲郡市生命の海科学館)



光合成について学ぶとともに、コアセルベートや酸化鉄の実験を行い観察しました。



蒲郡市生命の海科学館

2013年10月13日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1324>

㉑ボタニカルトーク ～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～

13:30～

※動植物公園入園料が必要

植物園スタッフが「植物に異常がみられたら」と題して植物に関わるお話をしました。栽培のポイントを楽しく学んでいただきました。



東山動植物園
Higashiyama
ZOO & BOTANIC GARDEN

2013年10月13日(日)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1423>

⑲収蔵庫たんけん「化石標本」

14:30～

※動植物公園入園料が必要

化石標本を中心に自然史博物館の収蔵庫に保管されている標本を見学しました。



豊橋市自然史博物館

2013年10月5日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1322>

㉒アサギマダラのマーキング調査

9:30～11:30

参加費：¥350

参加者と一緒にアサギマダラのマーキング調査を行いました。



東山動植物園
Higashiyama
ZOO & BOTANIC GARDEN

2013年10月14日(月)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1446>

⑳花粉をみてみよう!

14:00~15:00

講師: 天野専門員 (蒲郡市生命の海科学館)



顕微鏡を使って、様々な花の花粉を観察しました。



2013年10月14日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1334>

㉑(体育の日) 樹木医さんと歩こう ~樹木の健康診断~

10:30~

樹木医が園内を歩きながら樹木の健康診断についてのお話をしました。



2013年10月14日(月)

名古屋市科学館

<https://aichi-science.jp/1287>

㉒第2回「のぞいてみよう!ミクロの世界」特別講座

14:00~16:00

講師: 村中祥悟氏 (浜松医科大学実験実習機器センター)

走査型電子顕微鏡のしくみといろいろな観察方法の紹介がありました。また、生きたまま電顕観察ができるナノスーツの動画もあり、電顕の新しい可能性を感じることができました。



2013年10月14日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1332>

㉓アニマルトークリレー (オオアリクイ)

名古屋大学および連携機関・企業の研究担当者

動物園スタッフがオオアリクイについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年10月14日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1336>

㉔(体育の日) 樹木医さんと歩こう ~樹木の健康診断~

13:30~

樹木医が園内を歩きながら樹木の健康診断についてのお話をしました。



2013年10月14日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1330>

㉕アニマルトークリレー (フクロテナガザル)

14:00~15:00

講師: 戒田正敏氏 (蒲郡市教育委員会)

動物園スタッフがフクロテナガザルについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



ネットワーク18 機関のイベント

2013年10月14日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1328>

②⑨ アニマルトークリレー (アクシスジカ)

14:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがアクシスジカについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年10月18日(金)

7th cafe

<https://aichi-science.jp/1558>

③② サイエンスカフェ in 名古屋

12:15~14:45

講師：湯川 泰氏 (名古屋市立大学 教授/専門：分子生物学)

テーマ：「植物利用テクノロジーから考える未来像」



名古屋市立大学

2013年10月14日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1326>

③⑩ アニマルトークリレー (カリフォルニアアシカ)

13:30~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがカリフォルニアアシカについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年10月19日(土)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1448>

③③ 科学実験教室

14:00~15:00

おもしろ科学実験キャラバン隊 沓名 健次氏 (安城市立明祥中学校 教頭)



水溶液の実験や実験の方法を学んだ後、スライムをつくりました。磁石にくっつくスライムもつくりました。



蒲郡市生命の海科学館

2013年10月17日(木)

名古屋大学

<https://aichi-science.jp/1502>

③① KMI ノーベル賞緊急講演会「ヒッグス粒子の正体に迫る」

17:00~19:00

講師：倉知昌史氏 (素粒子宇宙起源研究機構基礎理論研究センター・特任助教)
戸本誠 (素粒子宇宙起源研究機構現象解析研究センター・准教授)
青木保道 (素粒子宇宙起源研究機構基礎理論研究センター・准教授)



ヒッグス粒子に関する研究成果に平成25年のノーベル物理学賞が与えられると発表されたのに対応し、名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構の研究陣によるヒッグス粒子についての緊急講演会を開催。素粒子の理論から最新の研究成果まで幅広く紹介しました。また、入場できなかった参加者は別室でインターネット映像中継で講演を聴講しました。



2013年10月19日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1433>

③④ ボランティアガイドツアー

※動植物公園入園料が必要

自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



豊橋市自然史博物館

2013年10月19日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1340>

③⑤ アニマルトークリレー (コアラ)

14:30~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがコアラについて説明しました。皆さん楽しんでようです。



2013年10月20日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1450>

③⑧ 小学校中学年向け定例講座(3・4年生)かがく教室 ペットボトルでふん水を作ろう

14:00~15:00

講師: 戒田正敏氏(蒲郡市教育委員会)、浅井インタープリター(蒲郡市生命の海科学館)



空気と水について学んだ後に、ペットボトルでふん水を作りました。色水を使って、きれいなふん水ができました。



2013年10月19日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1338>

③⑥ アニマルトークリレー (小型インコ)

13:30~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフが小型インコについて説明しました。皆さん楽しんでようです。



2013年10月20日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1172>

③⑨ あいちサイエンスフェスティバル2013 in 蒲郡 ワークショップ「宇宙飛行士を体験しよう!」

講師: 名古屋大学宇宙開発チーム NAFT のみなさん



宇宙のことや宇宙船のことに詳しく学びました。また、様々なゲームに挑戦しました。



2013年10月19日(土)

名古屋大学

<https://aichi-science.jp/1457>

③⑦ 第9回名古屋大学ホームカミングデー 分子で世界を変える: トランスフォーマティブ生命分子研究所とは

10:00~12:00



下村脩特別教授からの講演の後、伊丹健一郎教授、吉村崇教授による講演が行われました。老若男女を問わず多くの人で賑わい、総勢400人ほどの聴衆が集まりました。講演中は会場に笑顔が溢れる場面も多く、終始和やかな雰囲気でした。来場者からは「研究者としての熱意に感動した」などの声も聞かれ、大盛況のうちに終わりました。



2013年10月20日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1354>

④⑩ ボタニカルトーク ~植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議~

13:30~

雨天により中止



ネットワーク18 機関のイベント

2013年10月20日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1352>

④1 アニマルトークリレー (メダカ館の生き物)

15:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがメダカ館の生き物について説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年10月20日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1342>

④4 アニマルトークリレー (アルダブラゾウガメ)

13:30~

※動植物公園入園料が必要

雨天により中止



2013年10月20日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1348>

④2 アニマルトークリレー (インドサイ)

14:30~

※動植物公園入園料が必要

雨天により中止



2013年10月26日(土)

日本モンキーセンター

<https://aichi-science.jp/1409>

④5 自然体験ゲーム

参加費：無料 (別途入園料が必要)

ネイチャーゲームやプロジェクト・ワイルドのゲームを通して動物の生態を学び、サルについての理解を深めました。



2013年10月20日(日)

名古屋大学

<https://aichi-science.jp/1344>

④3 アニマルトークリレー (バードホール)

14:00~

※動植物公園入園料が必要

雨天により中止



2013年10月26日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1435>

④6 ボランティアガイドツアー

無料 (ただし動植物公園入園料が必要)

自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



2013年10月26日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1358>

④⑦ アニマルトークリレー (メダカ館の生き物)

14:30~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがメダカ館の生き物について説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年10月27日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1173>

⑤⑩ あいちサイエンスフェスティバル2013 in 蒲郡 一般科学講座(5)
「地球の海・宇宙の海 ~はやぶさ2がめざすもの~」

14:00~15:00

講師: 山中敦子氏 (蒲郡市生命の海科学館 学芸員)

隕石について詳しい解説を聞く事ができました。また、隕石を顕微鏡で観察しました。



2013年10月26日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1356>

④⑧ アニマルトークリレー (サル舎B棟)

13:30~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがサル舎 B 棟について説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年10月27日(日)

日本モンキーセンター

<https://aichi-science.jp/1411>

⑤⑪ 自然体験ゲーム

参加費: 無料 (別途入園料が必要)

ネイチャーゲームやプロジェクト・ワイルドのゲームを通して動物の生態を学び、サルについての理解を深めました。



2013年10月27日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1452>

④⑨ 小学校低学年向け定例講座(1・2年生)かがく工作室
パクパク恐竜を作ろう

14:00~15:00

参加費: 無料



ゴムの力で動くパクパク恐竜を作りました。いろいろな色のパクパク恐竜ができました。



2013年10月27日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1368>

⑤⑫ 野はらで生きもの探検

14:00~

※動植物公園入園料が必要



ビオトープ池で生きもの観察を行いました。



ネットワーク18 機関のイベント

2013年10月27日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1366>

⑤③ 野はらで生きもの探検

10:30~

※動植物公園入園料が必要



ビオトープ池で生きもの観察を行いました。



2013年10月27日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1360>

⑤⑥ 名古屋メダカ里親プロジェクト 2013 飼育記録・自由研究発表会

13:00~

※動植物公園入園料が必要



絶滅危惧種に指定されるニホンメダカの飼育を通じて身近な自然の大切さや、人と動物のかかわりを学びました。繁殖したメダカの返還式や飼育研究報告会を行い、プロジェクトには愛知教育大学名誉教授の岩松先生にも

ご参加いただきました。譲渡用の名古屋メダカは名古屋大学から提供を受けています。



2013年10月27日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1364>

⑤④ ボタニカルトーク

～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～

13:30~

※動植物公園入園料が必要

植物園スタッフが「秋に香る植物の話」と題して植物に関わるお話をしました。カツラの葉を観察したり、香りを楽しんだりすることを通じて学んでいただけました。



2013年10月30日(水)

名古屋大学

<https://aichi-science.jp/1482>

⑤⑦ Career path seminar for postdoctoral fellows and Ph.D. course students

10:30~12:00

講師: Tianna Hicklin, Ph.D.



科学者のキャリアパスおよび Science AAAS が提供する就職支援サービスに関する講義が Hicklin 博士によって行われました。様々なキャリアパスや自己分析を促すツール、求人情報を探す手法が紹介されました。質疑

応答においては、学生・教員が積極的に参加し、キャリア形成に向けた認識の高さを伺うことができました。



2013年10月27日(日)

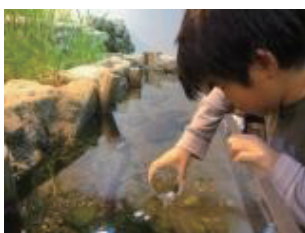
名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1362>

⑤⑤ 名古屋メダカ里親プロジェクト 2013 メダカ放流式

15:00~

※動植物公園入園料が必要



絶滅危惧種に指定されるニホンメダカの飼育を通じて身近な自然の大切さや、人と動物のかかわりを学びました。繁殖したメダカの返還式や飼育研究報告会を行い、プロジェクトには愛知教育大学名誉教授の岩松先生にも

ご参加いただきました。譲渡用の名古屋メダカは名古屋大学から提供を受けてます。



2013年11月2日(土)

日本モンキーセンター

<https://aichi-science.jp/1413>

⑤⑧ 自然体験ゲーム

参加費: 無料 (別途入園料が必要)

ネイチャーゲームやプロジェクト・ワイルドのゲームを通して動物の生態を学び、サルについての理解を深めました。



2013年11月2日(土)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1437>

⑤9 ボランティアガイドツアー

無料 (ただし動植物公園入園料が必要)

自然史博物館ボランティアが、来館者に自然史博物館の展示を解説しました。



豊橋市自然史博物館

2013年11月3日(日)

蒲郡市生命の海科学館

<https://aichi-science.jp/1486>

⑥2 大人気!化石発掘三葉虫スペシャル

14:00~16:00

講師: 山中学芸員 (蒲郡市生命の海科学館)

今回は、三葉虫の化石発掘にチャレンジしました。化石の勉強をした後、慎重に化石の発掘を行いました。



蒲郡市生命の海科学館

2013年11月2日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1372>

⑥0 アニマルトークリレー (メダカ館の生き物)

15:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがメダカ館の生き物について説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年11月3日(日)

日本モンキーセンター

<https://aichi-science.jp/1415>

⑥3 自然体験ゲーム

参加費: 無料 (別途入園料が必要)

ネイチャーゲームやプロジェクト・ワイルドのゲームを通して動物の生態を学び、サルについての理解を深めました。



2013年11月2日(土)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1370>

⑥1 アニマルトークリレー (両生類)

14:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフが両生類について説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年11月3日(日)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1374>

⑥4 ポタニカルトーク

~植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議~

13:30~

※動植物公園入園料が必要

植物園スタッフが「どんぐりのおはなし」と題して植物に関わるお話をしました。いろいろなどんぐりを見比べることで楽しく学んでいただけました。



ネットワーク18 機関のイベント

2013年11月4日(月)

日本モンキーセンター

<https://aichi-science.jp/1417>

⑥5 自然体験ゲーム

参加費：無料(別途入園料が必要)

ネイチャーゲームやプロジェクト・ワイルドのゲームを通して動物の生態を学び、サルについての理解を深めました。



2013年11月4日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1383>

⑥8 アニマルトークリレー (フクロテナガザル)

14:30~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがフクロテナガザルについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年11月4日(月)

豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1419>

⑥6 東三河ジオツアー②「奥三河の美をさぐる」

参加費 1,000円

化粧品の原料を産する鉱山、雄大な滝や天然記念物のポットホールを巡りました。



2013年11月4日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1379>

⑥9 アニマルトークリレー (アフリカゾウ)

14:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがアフリカゾウについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年11月4日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1385>

⑥7 アニマルトークリレー (ペンギン)

15:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがペンギンについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年11月4日(月)

名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1377>

⑦0 アニマルトークリレー (マレーバク)

13:00~

※動植物公園入園料が必要

動物園スタッフがマレーバクについて説明しました。皆さん楽しんだようです。



2013年9月25日(水)

三井住友銀行 SMBCパーク 栄

<https://aichi-science.jp/1192>

さかえサイエンストーク
世界の化学～新元素の名前とシンボルを決める～

講師：巽和行（国際純正・応用化学連合（IUPAC）会長
名古屋大学物質科学国際研究センター特任教授）



あいちサイエンスフェスティバル 2013の直前プレ企画およびマリー・キュリー業績ポスター展記念として開催しました。世界の化学者の代表である国際純正・応用化学連合会長の巽氏が、元素周期表に載っている元素記号を決める仕組みについて説明。連合の紹介からはじめ、元素の発見史のほか、国際純正・応用物理学連合との協議のうえで元素記号を決める現在のシステムを詳しく解説しました。



2013年9月25日(土)～30日(月)

三井住友銀行 SMBCパーク 栄

<https://aichi-science.jp/1372>

～マリー・キュリー業績ポスター展記念～

10：00-17：00
観覧無料



サイエンスコミュニケーション地域拠点交流活動として展開しているマリー・キュリー業績ポスター展を名古屋市の栄地区で開催しました。あいちサイエンスフェスティバル 2013 会期直前から開催し、フェスの情報センターとして設置。マリ・キュリー氏の業績を振り返るほかに、フェス参加企画の広報チラシを入手できる窓口として運用しました。



2013年10月5日(土)

愛媛県総合科学博物館

～11月10日(日)

<https://aichi-science.jp/1484>

マリー・キュリー業績ポスター展 in 愛媛県総合科学博物館



あいちサイエンスフェスティバルからの広報出展企画として、マリー・キュリー業績ポスター展を開催しました。マリー・キュリーの業績を紹介する13枚のポスターのほか、同氏とイレーヌ・キュリー氏を紹介する映像やノーベル賞を紹介するパネルも展示。さらにノーベル賞受賞会場のレプリカも設置し、来場者に理解を深めていただきました。



一般企画参加団体のイベント

2013年9月28日(土)

焼耐場もくらん

<https://aichi-science.jp/1297>

あいちサイエンスフェスティバル2013 開幕記念サイエンス居酒屋

関係者、各機関ボランティア、サイエンストークをやる会、フェス常連の皆
あいちサイエンスフェスティバル懇親会幹事さん



あいちサイエンスフェスティバル2013の開幕を記念して「酒のつまみにサイエンス」を試行しました。

2013年10月5日(土)

稲永ビジターセンター1階レクチャー室

<https://aichi-science.jp/1253>

藤前干潟サイエンスカフェ 「キレイ!すぞい!謎だらけ!干潟の立役者「貝」に迫る!」

ゲスト: 川瀬基弘氏(愛知みずほ大学講師)
ファシリテーター: 袁田裕美氏、長澤慎之介氏(国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター)
「藤前干潟ふれあいデー」実行委員会



10月5日藤前干潟ふれあいデー2013内にて、藤前干潟サイエンスカフェを開催しました。貝とはどういう生き物か、そして、川瀬先生から藤前干潟に生息する貝の種類とその役割について分かりやすくお話いただきました。

2013年10月1日(火)

ジュンク堂書店 ロフト名古屋店

~31日(木)

<https://aichi-science.jp/1462>

サイエンス系新書フェア

営業時間内 10:30 ~ 20:00
ジュンク堂書店ロフト名古屋店

サイエンス系新書を通じて、気軽にサイエンスに親しんでもらうため、「サイエンス系新書フェア」を開催しました。

2013年10月6日(日)

天白公園

<https://aichi-science.jp/1255>

ココロ・カラダの体感型交流会

松浦由佳先生(はちや整形外科インストラクター)
桑山 博江(FYR Educare Academy 代表)



あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー受講者を中心として集まり、30分程度のウォーキングの後、みんなで感想を言い合い交流会。秋晴れの気持ちの良い天気のもと、さわやかな汗を流せたイベントとなりました。

2013年10月4日(金)

名古屋市鶴舞中央図書館

~11月4日(月)

<https://aichi-science.jp/1474>

展示: ノーベル賞と科学者たち

名古屋市鶴舞中央図書館

ノーベル賞発表の時期に合わせて、日本のノーベル賞受賞者を中心に、ノーベル賞に関する本を集めました。

2013年10月7日(月)

愛知県立時習館高等学校体育館

<https://aichi-science.jp/1304>

瀬尾拓史氏 講演会「夢を追い続けるということ」

14:15 ~ 16:00

瀬尾拓史氏(株式会社サイアメント代表取締役・医師・サイエンスCGクリエイター)
愛知県立時習館高等学校



サイエンスCGクリエイターとして活躍されている瀬尾さんから、CGにひかれたきっかけ、サイエンスとCGをつなげて考えるようになった経緯等を、中学生から現在までの瀬尾さんの体験と人々との関わりを通してのお話がありました。

2013年10月5日(土)

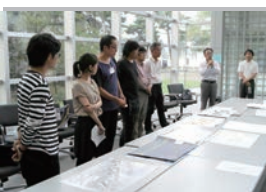
名古屋市立大学芸術工学部

<https://aichi-science.jp/1466>

第30回JA東海支部設計競技公開審査

10時から

ゲスト審査員: 前田圭介氏(UID)
公益社団法人日本建築家協会東海支部



10月5日名古屋市立大学にて公開審査が開催されました。

2013年10月12日(土) ~ 20日(日)

伏見地下商店街

<https://aichi-science.jp/1460>

JIA愛知建築家フェスティバル

公益社団法人日本建築家協会東海支部



あいちトリエンナーレ2013開催期間に合わせて、建築の楽しさを一般の方々、子供たちに知っていただくため、毎日替わりのイベントを伏見地下商店街にて開催いたしました。

2013年10月12日(土)

アートハウス あいち

<https://aichi-science.jp/1262>

《よじのぼる水①》水と表面張力

10:30 ~ 11:30

小木曾琴江 (サイエンスショー「かがくのひろば」メンバー)



プラカップ+紙カップで作る「即席サイフォン」を作り、実験結果を待つ間、「浸透圧」を使って折り染めをしました。みんな染めに夢中になって実験結果の観察を忘れて・・・お家でも追加実験することが宿題となりました。

2013年10月26日(土)

豊橋市民文化会館

<https://aichi-science.jp/1480>

表浜の自然—黒潮からの恵み—

19:00~21:00

渡辺幸久 (東三河野鳥同好会・調査担当幹事)
東三河野鳥同好会



スピーカーの渡辺さんの写真を見ながら、渥美半島の今年の状況をお話してもらいました。お話しの後で、昨年拾ったいろんな漂着植物(実)を実際に見せてもらいました。

2013年10月13日(日)

葦毛湿原

<https://aichi-science.jp/1472>

葦毛湿原探鳥会—鳥たちと湿原の秋の花たち—

営業時間内 8:30 ~ 10:30

高橋秀則 (東三河野鳥同好会・探鳥会担当幹事)
東三河野鳥同好会



快晴の中、駐車場に集まった方々とゆっくり歩きながら、野鳥と植物を観察しました。湿原内は、観光のお客さんが多くて、賑やかでした。何回も上空を見上げましたが、タカ類は見つからず、イワツバメが飛んでいただけでした。

2013年10月27日(日)

尼ヶ坂サロン

<https://aichi-science.jp/1108>

あいちサイエンストーク「名古屋マンガ文化研究! ~マンガ研究の重鎮・呉智英先生に聞く~」

16:00~17:30

呉智英 (日本マンガ学会 理事 (前会長))
日本マンガ学会 名古屋マンガ文化研究部会



まずは小林氏より「名古屋を作品の舞台にすることの必然性」を説明。それをふまえて呉氏から地域性をエンターテイメントとしてマンガに落とし込む難しさについての指摘があった。同時に職能としてのマンガの生きる道としての「地方啓蒙マンガ」についてなど、興味深い話をたくさんうかがうことができた。

2013年10月19日(土) ~ 20日(日)

糸ひす昭和村

<https://aichi-science.jp/1487>

JIA 愛知建築家フェスティバル(糸ひす祭り会場)

関前田 圭介 (UID)

公益社団法人日本建築家協会東海支部



糸ひす祭り会場にて、ダンボール迷路のワークショップを開催しました。

2013年10月28日(月)

愛知県立時習館高等学校

<https://aichi-science.jp/1497>

時習館SSH第7回特別講演会 (兼時習館高校創立120周年記念講演会)

14:00 ~ 16:00

時枝 正氏 (ケンブリッジ大学トリニティーホール フェロー (准教授))

テーマ:「おもちゃで探る物理」

2013年10月26日(土)

エクセルシオールカフェ 名古屋国際ホテル店

<https://aichi-science.jp/1570>

【初心者向】IT・WEB活用勉強会★

10:00~12:00

藤本延江

藤本延江オフィス



栄のカフェで開催された今回。IT 超初心者から、IT 関連で働く方まで集まり、主にスマートフォン、Facebook をはじめとする SNS 活用について上級者から初心者に向けて教える、などの交流が持たれました。

2013年10月30日(水)

名城大学名駅サテライト

<https://aichi-science.jp/1476>

動物から教わる事がある! 「動物介在教育」ワンだふる体験懇談会

向 宇希氏 (社団法人中央政策研究所 名古屋支部 研究員 / NPO Animal-funfair わんとほーむ 代表)

社団法人中央政策研究所 名古屋支部「アニマルズ119プロジェクト」



動物介在教育について専門家の向氏にお話頂きました。介護・医療の現場で体験されたことをもとにお話され、動物が人にどのような良い影響を与えるかを聞くことができました。また参加者の方にも、それぞれの立場・目線から「動物介在教育」についてお話し頂きました。介護・医療現場でも実際に利用している動物のぬいぐるみやポニーの乗り物を用意し、ポニーの乗り物を参加者にも体験する時間も設けました。

一般企画参加団体のイベント

2013年11月3日(日)

渥美の森

<https://aichi-science.jp/1500>

渥美の森探鳥会

7:00~9:00

山本博勝(東三河野鳥同好会・探鳥会担当幹事)
東三河野鳥同好会



あいにくの曇り空の上に視界が悪く、太平洋も三河湾もぼんやりとしか見ることができませんでした。いつもの時期なら見られるはずの鳥が現れず、通過する鳥の数も少なく、残念でした。思っていたよりずっと暖かく、風がないのが幸いして、アサギマダラが優雅に飛ぶ姿を見ることができました。

2013年11月3日(日)

TKP名古屋ビジネスセンター

<https://aichi-science.jp/1478>

OIST Caf? in 名古屋

岡田吉央(OIST 外部研究資金セクション マネージャー)
沖縄科学技術大学院大学(OIST)



OIST Cafe in 名古屋では、OIST 外部研究資金セクションマネージャーの岡田吉央とマリンゲノミクス・ユニット 川島武士研究員による講演がありました。多様で、国際的な岡田氏のキャリアパスについての話や、川島研究員の OIST マリンゲノミクスユニットの研究内容や OIST の研究環境について、参加したみなさん熱心に聞いていました。

2013年11月3日(日)

三井住友銀行 SMBC パーク栄

<https://aichi-science.jp/1271>

国際植物の日・日本国内コーディネーター会合

営業時間内 10:30 ~ 12:00

国際植物の日 日本国内コーディネーター・グループ

5月18日に世界中で開催された「国際植物の日」に日本から参加した活動を総括する会合を実施しました。日本国内コーディネーター5名と名古屋大学の担当者1名の6名で、今年度の活動をまとめました。また次年度の国際活動の動向を確認し、日本国内で活動方針について検討しました。

2013年11月4日(月)

広小路キッチンマツヤ

<https://aichi-science.jp/1299>

あいちサイエンスフェスティバル2013 大成功記念? ガリレオ・パーティ!

17:00~20:00

あいちサイエンスフェスティバル懇親会幹事



期最終日の夜にクロージングパーティを行いました。実行委員、関係者、サイエンストークをやってみる会会員、一般参加者等21名の参加を得て、酒のツマミにサイエンスを実践しました。

グルメスタンプラリー

2013年9月28日(土)~11月4日(月)

<https://aichi-science.jp/1256>

栄地区15店舗でフェス記念グルメスタンプラリー

栄地区15店舗で フェス記念グルメ スタンプラリー

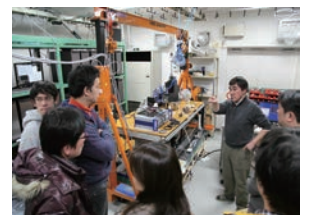
参加店に公式ポケットガイドを持って行くとミニプレゼント(数に限りあり)。

スタンプを3つ集めると「名大わくわくラボツアー」参加権が当たります!

詳しくは、
ホームページで!
<https://aichi-science.jp/1256>

参加店舗

焼酎場もくらん	052-953-2953
小料理Bar 結	052-959-2270
カモシヤ	052-963-6730
ロックモ	052-265-9086
Bar Squintz	052-251-1256
旬鮮台所ひのゑ	052-251-0307
青山七丁目	052-251-5077
酒と野菜料理 DUO	052-241-5133
Shot Bar Penrose	052-262-3047
ボクモ	052-253-6950
RiR organic+greens	052-252-5989
LIBERTINES' BAR	052-269-0169
広小路キッチンマツヤ	052-201-2082
店長のひとりごと	052-221-8257
OX Diner	052-936-0093



写真の説明:(左上)LED式信号機も赤崎特別教授の青色LEDの発明のおかげ。(右上)中村教授による素粒子飛跡読み取り装置の説明にビックリ。(左下)2008ノーベル賞記念室でノーベル賞メダルのレプリカに興奮

あいちサイエンスフェスティバル2014を記念し、栄地区15店舗によりグルメスタンプラリーを展開しました。参加店舗にフェス公式ポケットガイドを持参すると2008ノーベル物理学賞の益川博士のイラストが焼印された「名大まんじゅう」を一個プレゼント。さらに、さかえサイエンストークまたはフェス情報センター特別展でスタンプ1個、ラリー参加店舗でスタンプ2個の計3個でコンプリートとした方を、2月1日(土)に名大わくわくラボツアーにご招待しました。1個以上のスタンプを獲得した方は700名、コンプリート者は15名という結果でした。次年度も開催するのみこみです。

スタンプを3つ集めると「名大わくわくラボツアー」参加権が当たります!

名大わくわくラボツアーとは・・・

名古屋大学の研究施設(青色LEDの展示室など)を、「専門家の解説付き」で巡る3時間のミニツアーです。

2014年1月のどこかの土曜日に開催予定です。

現地までの交通費は各自でご負担ください。応募多数の場合抽選になります。

あいちサイエンスフェスティバル2013の会期（9月28日～11月4日）以外も、aichi-science.jp ウェブサイトを通運用しました。会期以前をプレ企画、会期以後をポスト企画として参画企画の登録を受け付け、ウェブとメールマガジンでの情報発信を行いました。ここでは、5月の「国際植物の日」月間（P40～43）以外のプレ企画をご紹介します。ポスト企画は、P44をご覧ください。

参加企画(サイエンスイベント)名称	イベント企画団体名	開催日	終了日
1 第32回 名大カフェ「Science, and Me」ビューティフルライフ～健康に生きる”整形外科医からの提言～	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	10/4/2013	10/4/2013
2 アノマロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を見てみよう 2013～◆講演会編2「地球観測～宇宙から見た地球～」	蒲郡市生命の海科学館	13/4/2013	13/4/2013
3 化石発掘にチャレンジ！	蒲郡市生命の海科学館	14/4/2013	14/4/2013
4 第32回spcafe 科学技術の報道はうさんくさい？	spcafe	18/4/2013	18/4/2013
5 サイエンスカフェ in名古屋	名古屋市立大学	19/4/2013	19/4/2013
6 ビーズでつうろう！DNAストラップ	蒲郡市生命の海科学館	20/4/2013	20/4/2013
7 エネルギーについて考えよう。「シェーナウの想い」上映会	Honmono	21/4/2013	21/4/2013
8 科学技術週間スペシャル★サイエンスラボ 隕石	蒲郡市生命の海科学館	21/4/2013	21/4/2013
9 第17回朝活ネットワーク名古屋「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう～あなたのサイエンスイベントを企画しよう～」	朝活ネットワーク名古屋	29/4/2013	29/4/2013
10 東山の森 生きものあそびアーケード	名古屋市東山動物園	6/5/2013	6/5/2013
11 サイエンスカフェ in名古屋	名古屋市立大学	17/5/2013	17/5/2013
12 一般講演会「素粒子・宇宙物理・宇宙工学へのいざない」	名古屋大学博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム」	18/5/2013	18/5/2013
13 あいちサイエンストーク「アルジャーラートーク！」	Fleuve Café	25/5/2013	25/5/2013
14 第12回ヒメボタルサミットin愛知	名古屋科学館・「ヒメボタルサミットin愛知」実行委員会	26/5/2013	26/5/2013
15 一般講演会「素粒子・宇宙物理・宇宙工学へのいざない」	名古屋大学博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム」	26/5/2013	26/5/2013
16 あいちサイエンストーク「小さな虫も微生物と戦っている～昆虫免疫の世界～」	Fleuve Café	31/5/2013	31/5/2013
17 ISTSフェスティバルin中部大学	第29回ISTS開催支援愛知・名古屋実行委員会	2/6/2013	9/6/2013
18 大西卓哉JAXA 宇宙飛行士講演会 第一部	名古屋大学	2/6/2013	2/6/2013
19 大西卓哉JAXA 宇宙飛行士講演会 第二部	名古屋大学	2/6/2013	2/6/2013
20 アノマロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を見てみよう 2013～ 実験工作編1「水口ケツを作ろう！」	蒲郡市生命の海科学館	2/6/2013	2/6/2013
21 アノマロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を見てみよう 2013～ 講演会編1) 宇宙飛行士講演会 サテライトイベント	蒲郡市生命の海科学館	2/6/2013	2/6/2013
22 第34回名大カフェ 「リモートセンシング～宇宙からの地球の素顔を見る～」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	3/6/2013	3/6/2013
23 走査型電子顕微鏡を体験してみよう～入門講座(第2回)	名古屋科学館	8/6/2013	8/6/2013
24 映画「HAYABUSA～BACK TO THE EARTH～帰還バージョン」鑑賞会	豊橋市教育委員会、第29回ISTS開催支援愛知・名古屋実行委員会	8/6/2013	8/6/2013
25 宇宙技術講演会・航空宇宙フェア特別講演会	(一社)日本航空宇宙学会 中部支部、第29回ISTS開催支援愛知・名古屋実行委員会	8/6/2013	9/6/2013
26 アノマロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を見てみよう 2013～ ＊実験工作編2「探査機を作ってみよう！パラシュート降下で地上映像を見てみよう」	蒲郡市生命の海科学館	8/6/2013	8/6/2013
27 アノマロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を見てみよう 2013～ ◆講演会編2「地球観測～宇宙から見た地球～」	蒲郡市生命の海科学館	9/6/2013	9/6/2013
28 第1回JIA東海住宅建築賞2013公開1次審査会	公益社団法人日本建築家協会東海支部	15/6/2013	15/6/2013
29 アノマロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を見てみよう2013～ いざ打ち上げ！宇宙へ地球を見に行こう！	蒲郡市生命の海科学館	15/6/2013	15/6/2013
30 第10回科学リテラシー講演会「科学・ものづくり教育の推進と愛知教育大学の取組」	名城大学総合数理教育センター	16/6/2013	16/6/2013
31 瀬尾拓史 講演会「夢の叶え方」	honmono	16/6/2013	16/6/2013
32 SMBCパーク茶サイエンスセミナー「しんかい6500でゆく海底探検～エネルギー資源を考える旅～」	名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局(SMBCパーク茶セミナー共催担当)	18/6/2013	18/6/2013
33 サイエンスカフェ in名古屋	名古屋市立大学	21/6/2013	21/6/2013
34 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「知の拠点あいちを見てみる！～あいち産業科学技術総合センターとシグロトン光利用施設～」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	22/6/2013	22/6/2013
35 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「愛知県の新しいサイエンスセンター“知の拠点あいち”とは？」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	22/6/2013	22/6/2013
36 英語で科学する お化け・幽霊・金縛り	ICA 英会話サークル	27/6/2013	27/6/2013
37 第33回spcafe 一人学際って？	spcafe	28/6/2013	28/6/2013
38 「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう～あなたのサイエンスイベントを企画しよう～」	蒲郡市生命の海科学館	29/6/2013	29/6/2013
39 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう！～サイエンスイベントを企画しよう～」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	29/6/2013	29/6/2013
40 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「生態系ネットワークをつくる！～人と自然が共生するあいち～(蒲郡開講)」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	6/7/2013	6/7/2013
41 科学的な考え方を学び楽しむ化学(科学)実験教室	名古屋科学館	6/7/2013	6/7/2013
42 第35回名大カフェ 「いまどきの霧箱の実験で素粒子などを観測「見えないけれどそこにある??」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	10/7/2013	10/7/2013
43 全国同時七夕講演会2013「第3回サイエンスバブ in名古屋」	「サイエンスバブ in名古屋」実行委員会	12/7/2013	12/7/2013
44 化石発掘にチャレンジ！	蒲郡市生命の海科学館	13/7/2013	13/7/2013
45 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう！～サイエンスイベントを企画しよう～」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	13/7/2013	13/7/2013
46 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「サイエンスコミュニケーションってなに？」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	13/7/2013	13/7/2013
47 走査型電子顕微鏡を体験してみよう～入門講座(第3回)	名古屋科学館	13/7/2013	13/7/2013
48 サイエンスイラストレーション 教授陣展	名古屋造形大学	16/7/2013	26/7/2013
49 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう！～森と緑のサイエンスイベントを企画しよう～」(岡崎開講)	名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局	20/7/2013	20/7/2013
50 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「生態系ネットワークをつくる！～人と自然が共生するあいち～(岡崎開講)」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	20/7/2013	20/7/2013
51 ICA Specialセミナー vol.3「English Lecture 自家製ビール作り」	名古屋英会話サークルICA	25/7/2013	25/7/2013
52 サイエンスカフェ in名古屋	名古屋市立大学	26/7/2013	26/7/2013
53 夏休み親子学習会2013	西三河野生生物研究会	27/7/2013	28/7/2013
54 ◆◆サイエンストーク・蒲郡まつりスペシャル◆◆ 「SF映画に乾杯！プレ上映会 -デイ・アフター・トモロー-	蒲郡市生命の海科学館	27/7/2013	27/7/2013
55 ◆◆サイエンストーク・蒲郡まつりスペシャル◆◆ サイエンス★ビアガーデン ～SF映画に乾杯～	蒲郡市生命の海科学館	27/7/2013	27/7/2013
56 あいちサイエンストーク「新聞に見る初期日本映画～名古屋という地域性をめぐって～」	Fleuve Café	28/7/2013	28/7/2013
57 第34回spcafe 植物ミトコンドリアDNAのダイナミクス	spcafe	29/7/2013	29/7/2013
58 SMBCパーク茶サイエンスセミナー「サイエンスで交流しよう！～社会とサイエンスの関係を考える～」	名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局(SMBCパーク茶セミナー共催担当)	30/7/2013	30/7/2013
59 鈴木エドワードトークショー ※あいちサイエンストーク活動	鈴木エドワードトークショー	1/8/2013	1/8/2013
60 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう！～森と緑のサイエンスイベントを企画しよう～」(名古屋開講)	名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局	3/8/2013	3/8/2013
61 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「生態系ネットワークをつくる！～人と自然が共生するあいち～(名古屋開講)」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	3/8/2013	3/8/2013
62 2013年夏の講演会「日本近海の海底資源～基礎から最先端の研究まで」	蒲郡市生命の海科学館	4/8/2013	4/8/2013
63 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「インターネットに挑戦」	名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局	6/8/2013	6/8/2013
64 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「デジタルカメラ基礎」	名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局	6/8/2013	6/8/2013
65 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「デジタルカメラ実習」	名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局	9/8/2013	9/8/2013
66 あいちサイエンストーク「名古屋マンガ文化研究！～マンガ研究ってどうやるの？～」	日本マンガ学会名古屋マンガ文化研究部会	9/8/2013	9/8/2013
67 第4回走査型電子顕微鏡を体験してみよう～入門講座(8/11)	名古屋科学館	11/8/2013	11/8/2013
68 SMBCパーク茶サイエンスセミナー「さかえサイエンストーク～信長の城づくり始末～」	名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局(SMBCパーク茶セミナー共催担当)	12/8/2013	12/8/2013
69 第1回「のぞいてみよう！ミクロの世界」特別講座～生きものミクロの世界を楽しむ	名古屋科学館	12/8/2013	12/8/2013
70 第36回名大カフェ 「21世紀を拓くナノ炭素の秘密 ～フラーレン、カーボンナノチューブ、グラフェン～」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	15/8/2013	15/8/2013
71 サイエンスカフェ in名古屋	名古屋市立大学	23/8/2013	23/8/2013
72 みなと防災フェスタ2013	名古屋市港防災センター、名古屋市	24/8/2013	25/8/2013
73 キッズボタニカルラボ	東山動物園	24/8/2013	24/8/2013
74 夏のサイエンスショー「色々マジック」	NSA高等学校	25/8/2013	25/8/2013
75 「見て、さわって、感じて！」あいちの農林水産業を支えるサイエンスウィーク	名古屋科学館	27/8/2013	1/9/2013
76 3Dプリンターで臓器モデルを作ろう！	名古屋大学情報連携推進本部	27/8/2013	28/8/2013
77 研究者のためのメディアトレーニング	一般社団法人 サイエンス・メディア・センター	31/8/2013	31/8/2013
78 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう！～サイエンスイベントを企画しよう～」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	31/8/2013	31/8/2013
79 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「英国のサイエンスコミュニケーション ～科学の信頼をどう取り戻したか～」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	31/8/2013	31/8/2013
80 SMBCパーク茶サイエンスセミナー「はやぶさ2」～「はやぶさ2」～「小惑星のかけらが教えてくれること～」	名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局(SMBCパーク茶セミナー共催担当)	3/9/2013	3/9/2013
81 第35回spcafe 考古学の現場	spcafe	4/9/2013	4/9/2013
82 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう！～森と緑のサイエンスイベントを企画しよう～」(小牧開講)	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	7/9/2013	7/9/2013
83 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「あいちサイエンスフェスティバルの仲間になろう！～人と自然が共生するあいち～(小牧開講)」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	7/9/2013	7/9/2013
84 走査型電子顕微鏡を体験してみよう～入門講座(第5回)	名古屋科学館	16/9/2013	16/9/2013
85 サイエンスイラストレーション 展示会「サイエンスイラストレーションの世界展」	名古屋市立大学	17/9/2013	11/10/2013
86 サイエンスカフェ in名古屋	名古屋市立大学	20/9/2013	20/9/2013
87 未来の医療を占う～コンピュータ外科と医療画像処理に関する市民公開講座	MICCAI2013 組織委員会	22/9/2013	22/9/2013
88 第11回科学リテラシー講演会・科学実験指導者講習会「科学リテラシーはなぜ大切か～協働する知性の基盤として～」	名城大学総合数理教育センター	23/9/2013	23/9/2013
89 秋の名古屋大学オープンレクチャー2013	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	23/9/2013	23/9/2013
90 さかえサイエンストーク「世界の化学～新元素の名前とシンボルを決める～」	名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局(ISTネットワーク形成地域型)	25/9/2013	25/9/2013
91 第37回名大カフェ 「もの」を分ける 新たな技術をめざして	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	27/9/2013	27/9/2013

「国際植物の日」月間

4月28日(日)～6月16日(日)

国際植物の日は、植物のたいせつさや植物科学の面白さをより多くの人々と共に見直し共有するための日です。欧州植物科学機構 (EPSO) の提唱で2012年にスタート。2年目の今年は50か国以上が参加し、世界中で講演会、施設公開、実験教室、自然観察、サイエンスカフェなどが行われました。



あいち「国際植物の日」月間

主催：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

後援：(社)日本庭園協会愛知県支部

2013年4月28日(日)、5月12日(日)

国際植物の日記念行事・名古屋市科学館かがくゼミナール「タンポポから考える生物多様性」

- 企画参加団体：名古屋市科学館
 - ゲスト：渡邊幹男(愛知教育大学教授)
 - 会場：名古屋市科学館実験室
- <https://aichi-science.jp/897>



1日目はタンポポの雑種を学び、白川公園(科学館前)でタンポポを採集。2日目は遺伝子調査を体験。葉緑体 DNA については PCR をして電気泳動に流す体験をしました。外来種や無性生殖から遺伝子レベルの生物多様性を考えました。

2013年5月1日(水)～5月31日(金)

生命ラボ「葉緑体を見てみよう」

- 企画参加団体：名古屋市科学館
 - 会場：名古屋市科学館 生命館 5F 生命ラボ
- <https://aichi-science.jp/989>

生命ラボ5月のテーマは「葉緑体を見てみよう」。生物顕微鏡でオオカナダモの葉を観察し、葉緑体が細胞内を動いているようすまで観察しました。

2013年5月3日(金・祝)

花と緑のクイズラリー

- 企画参加団体：名古屋市東山動物園
 - 会場：名古屋市東山植物園(植物園門案内所)
- <https://aichi-science.jp/957>

クイズに答えながら植物園を巡ることで、植物について楽しく学んでいただきました。

2013年5月4日(土・祝)

みどりの日に樹木医さんと歩こう

- 企画参加団体：名古屋市東山動物園
 - 会場：名古屋市東山植物園(植物会館前集合)
- <https://aichi-science.jp/961>



樹木医が園内を歩きながら樹木の健康診断についてのお話をしました。

2013年5月4日(土・祝)

自分で作る花の香水(バラ・スズランなど)

- 企画参加団体：名古屋市東山動物園
 - 会場：名古屋市東山植物園(植物会館研修室)
- <https://aichi-science.jp/965>

調香師と一緒にバラやスズランなどの花の香水をつくる体験をしました。華やかな香りを参加者のみなさんに楽しんでいただくことができました。

2013年5月5日(日・祝)

子供と遊ぼう(ストラップ作り)

- 企画参加団体：名古屋市東山動物園
 - 会場：名古屋市東山植物園(合掌造りの家)
- <https://aichi-science.jp/967>

木のストラップづくり体験を行いました。

2013年5月5日(日・祝)

ボタニカルトーク

－ 植物園職員が誘う植物の魅力と不思議 －

- 企画参加団体：名古屋市東山動物園
 - 会場：名古屋市東山植物園
- <https://aichi-science.jp/969>

植物園スタッフが「お茶の話」と題して植物に関わるお話をしました。実際にお茶を飲んだり、香りを楽しんだりすることを通じて学んできました。

2013年5月6日(月・休)

東山の森 生きものあそびアーケード

- 企画参加団体：名古屋市東山動植物園
 - 会場：名古屋市東山植物園（星が丘広場）
- <https://aichi-science.jp/971>



インタープリターが生きものの気持ちになってみる体験を行いました

2013年5月18日(土) 19日(日)

植物園ガイドツアー

- 企画参加団体：豊橋市総合動植物公園
 - 会場：豊橋市総合動植物園・屋外植物園地区
- <https://aichi-science.jp/977>



植物園ボランティアが、来園者に園内の植物を紹介しました。

2013年5月8日(水)

さかえサイエンストーク「遺伝子組み換え作物には承認が必要なんです！ - 開発企業の申請担当よもやま話 -」

- ゲスト：福田美雪（シンジェンタ ジャパン株式会社バイオテクノロジーレギュラトリー部 主任）
 - ファシリテーター：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）
 - 会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄
- <https://aichi-science.jp/899>



遺伝子組み換え作物を申請担当者みずからその法的枠組みを紹介。クイズを交えて承認への一連の流れと、安全性のチェックポイントを詳しく解説。一つの作物について承認を得るために提出する書類の多さに驚きました。

2013年5月18日(土)

国際植物の日・市民講座「蒲郡一受けたい科学授業」「日本を元気にする芋エネルギービジネス！」

- 企画参加団体：蒲郡市生命の海科学館
 - ゲスト：鈴木高広（近畿大学 生物理工学部 教授）
 - 会場：蒲郡市生命の海科学館
- <https://aichi-science.jp/932>



国際植物の日企画・市民講座「蒲郡一受けたい科学授業」として、近畿大学鈴木先生にご講演いただきました。日本のエネルギー問題について、芋をエネルギーにするという最前線の取り組みをご紹介します。

2013年5月10日(金)、11日(土)

平成25年度 春の薬草園の市民公開

- 企画参加団体：公立大学法人 名古屋市立大学
 - 会場：名古屋市立大学 薬学研究科 薬草園
- <https://aichi-science.jp/942>



151名の市民の方々にご参加いただきました。今年もちょうどよいタイミングでケシの花が咲きましたので、一番よいときに薬草園の体験をしていただきました。参加した方々はスタッフの説明に熱心に耳を傾けていました。

2013年5月18日(土)

花とあそぼう

- 企画参加団体：蒲郡市生命の海科学館
 - ゲスト：見神元 義（りかたまクラブ（大日本図書））
 - 会場：蒲郡市生命の海科学館
- <https://aichi-science.jp/935>

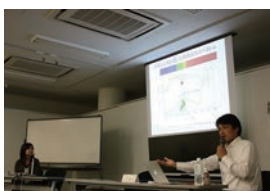


国際植物の日ということで植物を使ったワークショップを行いました。花を使っていろいろな体験をすることができました。

2013年5月15日(水)

名大カフェ「植物の巧みな環境応答～スーパー植物の可能性～」

- ゲスト：木下俊則（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所（WPI-ITbM）教授 / 理学研究科生命理学専攻）
 - ファシリテーター：渡邊真由美氏（同研究所リサーチ・プロモーション部門）
 - 会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄
- <https://aichi-science.jp/911>

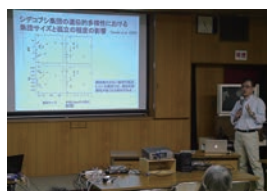


名古屋大学に新設されたWPI拠点からのゲストが理科の教科書でおなじみの気孔のメカニズムについて最新研究を紹介。顕微鏡での気孔観察やサーモグラフィーで植物の温度分布を観察など、研究が体験できるサイエンスカフェとなりました。

2013年5月19日(日)

あいちサイエンストーク「シデコブシの保全を目指して」

- 企画参加団体：名古屋大学 あいちサイエンスフェスティバル事務局
 - ゲスト：戸丸信弘（名古屋大学大学院生命農学研究所教授）
 - ファシリテーター：戸次真一郎（名古屋大学 URA）
 - 会場：名古屋市東山植物園（植物会館研修室）
- <https://aichi-science.jp/907>



東海地方だけに分布しているシデコブシについて解説しました。群生地ごと、個体ごとの遺伝子の違いを調べてみると、近い地域ほど近縁であることがわかるなど、保存に向けた方策を検討するために必要な研究を紹介しました。

「国際植物の日」月間

4月28日(日)～6月16日(日)

2013年5月19日(日)

イベントワークショップ

「着生植物ビカクシダでプランツアートをつくろう」

- 企画参加団体：(社)日本庭園協会愛知県支部
 - ゲスト：日比野カツ(園芸家 / 日本庭園協会愛知県支部員)
 - 会場：名古屋市東山動植物園(フラワーステージ)
- <https://aichi-science.jp/980>



着生植物ビカクシダを使ったインテリアになるプラントアートを制作しました。ビカクシダの生態の学習し参加者自らアートを制作しました。途中に雨が降る悪条件の中でも皆さん夢中になり制作。植物の持つ魅力を実感できました。

2013年6月1日(水)～16日(日)

バラ・アジサイまつり

- 企画参加団体：小牧市
 - 会場：小牧市・市民四季の森
- <https://aichi-science.jp/1096>

毎年恒例のバラ・アジサイまつりで、国際植物の日に参加しました。会期中には美しいバラとアジサイを楽しんでいただきました。



2013年5月22日(水)

さかえサイエンストーク

「松阪発祥の古典園芸品種に見る 花の芸 ～ナデシコ・菊・花菖蒲～」

- ゲスト：神山康夫(松阪三珍花保存会/三重大学名誉教授)
 - ファシリテーター：戸次真一郎(名古屋大学 URA)
 - 会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄
- <https://aichi-science.jp/901>



江戸時代に確立した園芸品種の保存にとりむ神山氏が、その歴史と魅力を紹介。松阪撫子、松坂花菖蒲、松坂菊の特徴と育成のポイントなどを解説。松阪撫子の現物を前に古典園芸植物の保存の重要性を語りました。

2013年6月2日(日)

あいちサイエンストーク「現代バラのルーツ“中国古代バラ”」

- ゲスト：福井博一(岐阜大学 応用生物科学部長・教授)
 - ファシリテーター：武田穠氏(名古屋大学 産学官連携推進本部 教授)
 - 会場：小牧市・市民四季の森(バラ・アジサイまつり会場)
- <https://aichi-science.jp/909>



地域連携サイエンスコミュニケーションとして小牧市バラ・アジサイ祭りで開催しました。祭りにちなみバラの育種が専門の福井氏が、バラのルーツを紹介。屋外会場でバラに囲まれた自主開催として、サイエンストークを展開しました。

2013年5月24日(金)

あいちサイエンストーク

「街のみどり(植物)がこどもの感性を育む」

- 企画参加団体：(社)日本庭園協会愛知県支部
 - ゲスト：高見紀雄(高見庭苑 / 日本庭園協会愛知県支部長) × 齋藤正吉(齋藤正吉建築研究所)
 - 会場：Fluue café(フルーヴカフェ)
- <https://aichi-science.jp/915>



都会の緑化における人為的な無関心が植物と人との関わり合いを遠ざけている」という独自の目線で、街路樹のライドなどを見ながら意見を述べ合いました。都市公園をドッグランに変えていくなどの逆説的な提案もなされ議論が白熱しました。

2013年6月5日(水)

さかえサイエンストーク

「ゲノムのゴミとされていたもの～イネの動く遺伝子～」

- ゲスト：梶根一夫(基礎生物学研究所 / 総合研究大学院大学)
 - ファシリテーター：大住克史(名古屋大学 URA)
 - 会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄
- <https://aichi-science.jp/905>



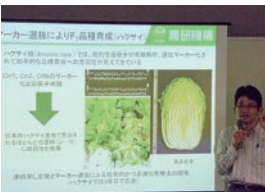
動く遺伝子トランスポゾンを紹介。以前はゴミとされていた部分が転移してさまざまな変異体を作り出すことメカニズムを解説。イネの変異体から食糧増産につながる研究を説明。ヒトのほおの細胞から DNA を抽出する実験も実施しました。

2013年5月29日(水)

さかえサイエンストーク

「DNA を見ながら野菜を品種改良する」

- ゲスト：松元哲(農業・食品産業技術研究機構 野菜茶業研究所 上席研究員)
 - ファシリテーター：藤吉隆雄(名古屋大学 産学官連携推進本部 特任助教)
 - 会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄
- <https://aichi-science.jp/903>



アブラナ科植物の根こぶ病に抵抗性を持つ品種改良を解説。DNA マーカーの活用で4種の根こぶ病菌に抵抗性を持つおいしい新品種「あきめき」の開発ストーリーを紹介。短期間・少労力で新品種に到達できた実例を披露しました。

2013年5月4日(土)

花と緑のクイズラリー

- 企画参加団体：名古屋市東山動植物園
 - 会場：名古屋市東山植物園(植物園門案内所)
- <https://aichi-science.jp/959>



クイズに答えながら植物園を巡ることで、植物について楽しく学んでいただきました。

2013年5月4日(土)

みどりの日に樹木医さんと歩こう

- 企画参加団体：名古屋市東山動植物園
- 会場：名古屋市東山植物園（星が丘広場）
- https://aichi-science.jp/963

樹木医が園内を歩きながら樹木の健康診断についてのお話をしました。

2013年5月22日(水)

野の花めぐり

- 企画参加団体：愛知県
- 会場：愛知県森林公園
- https://aichi-science.jp/934



咲きたい時に咲きたい所で咲く自然が作り上げた自由で美しい花たちを、7グループに分かれて2時間の散策で観賞しました。えびづる会のみなさんのガイドでインモチソウ、ノアザミ、ガマズミなど多くの花たちと出会うことができました。

2013年5月18日(土)

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー 「植物の寄生虫へサイエンスで挑む～国際植物の日記念～」

- 講師：後藤デレック（北海道大学農学研究院准教授、国際植物の日コーディネーター）
- 会場：豊橋市自然史博物館
- https://aichi-science.jp/913



世界で3億人分もの食糧被害を与えている寄生中ネコブセンチュウの最新研究を紹介。植物と土壌を処分するしか方策がなかったネコブセンチュウで、卵を造らせない植物を発見。抵抗性作物を作出しての食糧増産への期待を紹介しました。

2013年5月19日(日)

東山動植物園でボタニカルアートぬりえをしよう

- 企画参加団体：(社)日本庭園協会愛知県支部
- 会場：名古屋市東山動植物園 フラワーステージ
- https://aichi-science.jp/1000



5月に咲く植物、フジやタチツボスミレなど一見地味で見逃してしまう植物をあえて選び「ボタニカルアートぬりえ」に挑戦。小学生の子らは時間を忘れるほど夢中にお父さんが困ってました。ぬりえは老若男女問わず夢中になるものなんですね。

2013年5月18日(土)

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー 「森と緑のサイエンスイベントを企画しよう」

- 参講師：藤吉隆雄（名古屋大学産学官連携推進本部 特任助教）
- 会場：豊橋市自然史博物館
- https://aichi-science.jp/1006

毎年10月開催の地域科学祭「あいちサイエンスフェスティバル」の仕組みを紹介。セミナー受講者がサイエンストークを開催するための支援システムを解説。森と緑のサイエンスイベントの自主開催を呼びかけました。

2013年5月31日(金)

あいちサイエンストーク 「小さな虫も微生物と戦っている - 昆虫免疫の世界 -」

- 企画参加団体：Fleuve Cafe（フルーヴカフェ）
- ゲスト：横井翔（名古屋大学大学院生命農学研究科 博士研究員）
- 会場：Fleuve Cafe（フルーヴカフェ）
- https://aichi-science.jp/940



とても分かりやすく昆虫の持つ免疫について解説し、より身近に感じられる「科学」の話を展開。実際の研究風景や使用する道具なども紹介。実際に持参した虫の蛹に参加者はみな興味津々で、何度もご覧になっていました。

2013年5月18日(土)、19日(日)

2013 国際植物の日記念行事「のぞいてみよう!植物のひみつ」

- 企画参加団体：名古屋市科学館
- ゲスト：小林正智（理化学研究所 バイオリソースセンター 実験植物開発室 室長）
- 会場：名古屋市科学館
- https://aichi-science.jp/988



シロイヌナズナの種子や花、葉を実体顕微鏡などで観察して、クイズに答えてもらいました。

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業

愛知県は平成21年度から導入された「あいち森と緑づくり税」を活用し、森と緑の保全活動や森と緑を題材とする環境学習を行うNPO、ボランティア団体や市町村などに対して「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」で支援しています。あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会はこの資金を獲得。あいち「国際植物の日」月間（5～6月）、あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー（7～9月に県内5都市開講）、あいちサイエンスフェスティバル2013でのあいち環境・生物多様性week（10月）、豊橋市自然史博物館サイエンスイラストレーション企画群（11～12月）を展開しました。

ASF2013 ポスト企画

あいちサイエンスフェスティバルのウェブサイト aichi-science.jp は、会期終了後もサイエンスイベント情報集約・発信基盤として通年運用しています。

参加企画 (サイエンスイベント) 名称	イベント企画団体名	開催日	終了日
1 《よじのぼる水②》水と表面張力	科学のひろば	11/9/2013	11/9/2013
2 アニマルトークリレー (ライオン)	名古屋市東山動植物園	11/9/2013	11/9/2013
3 アニマルトークリレー (アジアゾウ)	名古屋市東山動植物園	11/9/2013	11/9/2013
4 アニマルトークリレー (夜行性動物)	名古屋市東山動植物園	11/9/2013	11/9/2013
5 アニマルトークリレー (メダカ館の生き物)	名古屋市東山動植物園	11/9/2013	11/9/2013
6 走査型電子顕微鏡を体験してみよう～入門講座 (第6回) 事前申込制	名古屋市科学館	11/9/2013	11/9/2013
7 アニマルトークリレー (ダチョウ)	名古屋市東山動植物園	11/10/2013	11/10/2013
8 アニマルトークリレー (ホッキョクグマ)	名古屋市東山動植物園	11/10/2013	11/10/2013
9 アニマルトークリレー (チンパンジー)	名古屋市東山動植物園	11/10/2013	11/10/2013
10 ボタンカルトーク～植物園スタッフが誘う植物の魅力と不思議～	名古屋市東山動植物園	11/10/2013	11/10/2013
11 SMBCパーク栄サイエンスセミナー「飛行機とロケットの過去・現在・未来」	三井住友銀行 SMBC パーク 栄	11/12/2013	11/12/2013
12 サイエンスカフェ in 名古屋	公立大学法人 名古屋市立大学	11/15/2013	11/15/2013
13 日本農芸化学会サイエンスカフェ in 名古屋市科学館「ホタルの光は、なぜだらけ」	名古屋市科学館	11/16/2013	11/16/2013
14 企画展サイエンス・イラストレーション～五箇公一と仲間たちイラスト展「虫マニア」～	名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局 (展示担当)	11/16/2013	12/8/2013
15 企画展サイエンス・イラストレーション～北米サイエンスイラストレーション教授陣作品展～	豊橋市自然史博物館	11/16/2013	12/8/2013
16 名大カフェ 第39回「石彫から読み取る一オムレツからマヤへ」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	11/20/2013	11/20/2013
17 大学からの知の発信 ～文理融合の視点から～	日本学術会議中部地区会議	11/20/2013	11/20/2013
18 第36回 spcafe	spcafe	11/29/2013	11/29/2013
19 あいちサイエンストーク「ダニが語る生物多様性」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	11/30/2013	11/30/2013
20 第1回 JIA 東海住宅建築賞2013表彰式、講演会、シンポジウム	公益社団法人日本建築家協会東海支部	11/30/2013	11/30/2013
21 サイエンス講座「日本の宇宙探査の歴史と未来 名探偵コナン影の魔術師を100倍楽しむ方法」	豊橋市科学教育センター	11/30/2013	11/30/2013
22 第30回 JIA 東海支部設計競技表彰式、講演会	公益社団法人日本建築家協会東海支部	12/7/2013	12/7/2013
23 【初心者歓迎】IT・WEB 勉強会☆	藤本延江オフィス	12/7/2013	12/7/2013
24 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「コンテンツ知的財産権」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	12/9/2013	12/9/2013
25 あいちサイエンスフェスティバル2013 大忘年会	あいちサイエンスフェスティバル懇親会幹事	12/9/2013	12/9/2013
26 平成25年度第3回総合数理解話会「3.11以降、変わったかー科学や理科の教育のあり方ー」	名城大学総合数理解教育センター	12/12/2013	12/12/2013
27 あいちサイエンストーク「名古屋が文化研究!～中日新聞連載「中部マンガ研究所」の伊藤進先生を迎えて～」	日本マンガ学会 名古屋マンガ文化研究部会	12/13/2013	12/13/2013
28 one world project -chain world by music-	honmono	12/13/2013	12/13/2013
29 ココロ・カラダの体感型交流会その2	小田嶋 鐘市	12/15/2013	12/15/2013
30 サイエンスカフェ in 名古屋	公立大学法人 名古屋市立大学	12/20/2013	12/20/2013
31 第40回名大カフェ「新触媒で脱石油化学に挑む!」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	12/20/2013	12/20/2013
32 第47回朝活ネットワーク名古屋「あいちサイエンストーク:アルジェリアのメディア学校からジャーナリズムを考える」	朝活ネットワーク名古屋	12/23/2013	12/23/2013
33 第37回 spcafe 図形雑学:幾何学であそぶ	spcafe	12/25/2013	12/25/2013
34 第38回 spcafe Antarctica-Not just snow and ice (極氷下の生き物たち)	spcafe	1/14/2014	1/14/2014
35 サイエンスコミュニケーション&アート in 名古屋 2014 新年会	サイエンスコミュニケーション&アート in NAGOYA	1/14/2014	1/14/2014
36 SMBCパーク栄サイエンスセミナー「標本を支える生物学～動物園の博物館活動～」	三井住友銀行 SMBC パーク 栄	1/22/2014	1/22/2014
37 愛知こども国・あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参画記念イベント「動物のきもちになって森と体を体験しよう!」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	1/26/2014	1/26/2014
38 自然史トーク「メタンハイドレートをさがせ」	豊橋市自然史博物館	1/26/2014	1/26/2014
39 第41回名大カフェ「どうして「もの」はくっつくか? 一接着の科学をひもとく」	名古屋大学リサーチ・アドミニストレーション室	1/29/2014	1/29/2014
40 名古屋大学レクチャー2014	主催:名古屋大学 共催:中日新聞社	2/1/2014	2/1/2014
41 名大わくわくラボツアー	あいちサイエンスフェスティバル2013 記念 グルメスタンプラリー	2/1/2014	2/1/2014
42 天白生涯学習センター公開講演会「次世代エネルギーを考える～文明の歴史的転換点の中で～」	名城大学総合数理解教育センター	2/4/2014	2/4/2014
43 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「サイエンスコミュニケーション活動とプロジェクト立案」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	2/8/2014	2/8/2014
44 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「サイエンスライティングのツツイベント告知と報告のテキスト～」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	2/8/2014	2/8/2014
45 SMBCパーク栄サイエンスセミナー「最新テクノロジーが明らかにするペンギンの秘密」	三井住友銀行 SMBC パーク 栄	2/10/2014	2/10/2014
46 あいちサイエンスフェスティバル完成記念パーティ	あいちサイエンスフェスティバル懇親会幹事	2/10/2014	2/10/2014
47 自動車部品の軽量化等に向けた「第9回接合・複合技術研究会」「プラズマによる表面改質と接着について」	名古屋大学プラズマナノ工学研究センター	2/12/2014	2/12/2014
48 サイエンスカフェ「脳血管テラーメドシミュレーターの最前線」	名古屋大学未来社会創造機構社会イノベーションデザイン学センター	2/18/2014	2/18/2014
49 第42回名大カフェ「農業を経済学で理解できるか」	名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部	2/19/2014	2/19/2014
50 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「デジタルカメラ実習」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	2/23/2014	2/23/2014
51 第2回笑って食育講座「笑いと食事で免疫力アップ 笑いと食事で免疫力アップ」	NPO 法人笑み筋体操? ハッピーネット	2/23/2014	2/23/2014
52 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「デジタルカメラ実習」	名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局	2/23/2014	2/23/2014
53 自然史トーク「チョウからみる進化」	豊橋市自然史博物館	3/2/2014	3/2/2014
54 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「インターネット中継にチャレンジ」	あいちサイエンスコミュニケーション・ネットワーク実行委員会	3/13/2014	3/13/2014
55 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「サイエンストークを運営する」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会	3/13/2014	3/13/2014
56 SMBCパーク栄サイエンスセミナー「あなたのスマホ顕微鏡が開く微小宇宙～Life is Small～」	三井住友銀行 SMBC パーク 栄	3/19/2014	3/19/2014
57 さかえサイエンストーク 自衛隊協力映画「今日もわれ大空にあり」から「名探偵コナン」まで～	主催:サイエンストークをやる会 後援:日本マンガ学会名古屋マンガ文化研究部会	3/20/2014	3/20/2014
58 朝活ネットワーク名古屋「科学の事件～科学のしくみと科学報道」	朝活ネットワーク名古屋	3/20/2014	3/20/2014
59 第34回古川為三郎サイエンス講演会「小さな生きものが教えてくれる脳のみみつ」	名古屋市科学館	3/21/2014	3/21/2014
60 探査機を作って実験!パラシュート降下で地上映像を見てみよう	蒲郡市生命の海科学館	3/21/2014	3/21/2014
61 第2回 FUTSAL buzz in KANAYAMA 2014	FUTSAL buzz	3/21/2014	3/21/2014
62 名古屋大学オープンレクチャー2014	名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部	3/21/2014	3/21/2014
63 あいちサイエンストーク 蕎麦打ちはサイエンス、かもしれない	サイエンストークをやる会	3/22/2014	3/22/2014
64 あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー「サイエンストークを運営する」	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会 (担当機関:名古屋大学 産学官連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局)	3/22/2014	3/22/2014
65 あいちサイエンストーク サイエンスコミュニケーションって何か研究した結果……	サイエンストークをやる会	3/22/2014	3/22/2014
66 サイエンストークをやる会総会	サイエンストークをやる会	3/22/2014	3/22/2014
67 第43回名大カフェ「逃げる」と「追う」の数理	名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部	3/26/2014	3/26/2014

サイエンスイラストレーション企画

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークでは海外の先進的な手法を愛知県に紹介するため、サイエンスイラストレーションのサマースクールを2011年、2012年の8月に開催しました。米ジョンズ・ホプキンス大学医学部大学院医療アート専攻から講師を招いての実践コース開催のほか、サイエンストークや教授陣作品展、受講者作品発表展を展開。2013年度はサマースクールこそ実現しなかったものの、名古屋造形大学ギャラリー(7月)、名古屋市立大学芸術工学部ギャラリー(9～10月)、三井住友銀行SMBCパーク栄イベントギャラリー(10月)、豊橋市自然史博物館(11～12月)大垣市サイトピアセンター アートギャラリー(2～3月/岐阜県)で教授陣作品展を実施しました。特に豊橋市自然史博物館では、サイエンスイラストレーション教授陣作品展のほか、五箇公一と仲間たちイラスト展「虫マニア」、あいちサイエンストーク「ダニが語る生物多様性」(ゲスト:五箇公一氏)を集中開催し、愛知県内第3のサイエンスフェスティバル拠点として積極展開しました。



豊橋市自然史博物館拠点でのサイエンスイラストレーション教授陣作品展



「虫マニア」展



あいちサイエンストーク

あいちサイエンスコミュニケーション体感 week2014

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー受講者が集合したサイエンストークをやる会が自主活動を4回行うことを契機に、冬のミニサイエンスフェスティバルを設定。3月19日(水)から3月26日(水)の1週間に12のサイエンスイベント参加企画があつまりました。



SMBC パーク栄サイエンスセミナー
「あなたのスマホ顕微鏡が開く微小宇宙～Life is Small～」(3/19)



第2回 FUTSAL buzz in KANAYAMA
2014 (3/21)



あいちサイエンストーク
「蕎麦打ちはサイエンス、かもしれない」
(3/22)

サイエンストークをやる会

2011～2013年度に開港した、あいちサイエンスコミュニケーション・セミナーの受講者が集合したサークルです。2011年12月に初の自主企画サイエンストークを開催。2012年度、2013年度に各3回のトークを展開しました。あいちサイエンスフェスティバルでは事務局企画サイエンストークに協力。2013年はのべ15名のメンバーが日替わりでファシリテーターを務めました。2014年3月22日には総会を開催し会則と世話人を決定。新たな展開に向けて準備を進



サイエンスコミュニケーション&アート in 名古屋

2011年と2012年に開講したサイエンスイラストレーションのサマースクールを受講した方々のグループです。メーリングリストとFACEBOOKで情報交換を進めています。受講者にはサブの仕事としてイラストレーションを手掛けるようになった方も複数出ており、近い将来に同窓会作品展を開催するとのアイデアも出てきました。2014年1月には名古屋の受講者で新年会も開催しました。



Honmono Project

あいちサイエンスコミュニケーション・セミナーを受講した高校教師のグループ。エネルギーについて考える映画「シェーナウの想い」上映会(4/21)、サイエンスCGクリエイター瀬尾拓史氏の講演会『夢の叶え方』(6/16)を開催しました。



建築家トークの会

名城大学の建築専攻の学生・院生によるサイエンストークサークル。サッカーボール型炭素分子「フラーレン」にその名を残す建築家バックミンスター・フラー氏の日本人の唯一の弟子である鈴木エドワード氏のサイエンストークほか1回を開催しました。



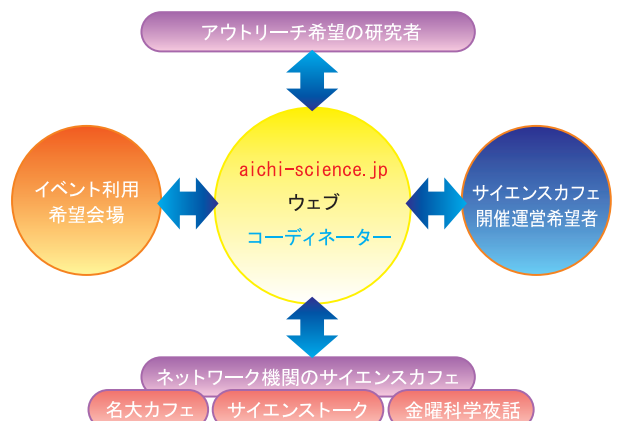
サイエンスカフェ支援パッケージ

サイエンストークに必要な機材をパッケージ化。サイエンスカフェ支援キット(キャリアバッグ)、インターネット中継キット(簡易版手提げバッグとスイッチング中継版キャリアバッグの2種あり)、ワンタッチ展開スクリーン代替品キットの3つを準備しました。フェス事務局が活用しているほか、あいちサイエンスコミュニケーション・セミナー修了(見込み)者に機材支援として貸出も行っています。



研究者、運営、会場マッチング

あいちサイエンスフェスティバル事務局は、サイエンスカフェ活動へ参画したい方を支援しています。アウトリーチ活動の場を求めている研究者、みずからサイエンスカフェを開催・運営してみたい希望者、イベントの会場として活用を希望するカフェやサロンからのリクエストを受け付け。ネットワーク機関のサイエンスカフェ(名大カフェ、サイエンストーク、金曜科学夜話など)でのゲスト登場や運営参加、会場利用を調整しています。サイエンストークをやる会等の自主企画や、既存のサークル等が主催するサイエンスカフェ活動へも情報を提供。あいちサイエンスフェスティバル会期中には、名古屋でのサイエンスカフェ開催希望を持つ東京のサークル、サイエンスイベント受け入れ希望の新規開店カフェ、ゲスト候補研究者との3者マッチングも実施しました。





あいちサイエンスフェスティバル2013

ミクロな生命からマクロな宇宙までを想像させる全体シルエットで、サイエンスの幅広さを表現。人にも植物にも見えるデザインにより生物多様性をシンボル化。星の上に住むもの、星の外にあるもの、ありとあらゆる存在の声を聴き、見つめる営みがサイエンスであることを連想させる。愛知県からサイエンスが芽吹くイメージと、愛知県民がサイエンス・コミュニケーターとして相互に交流・議論し、世界へ情報発信する姿をイメージとして重ね合わせて表現した。デザイン（2011）：松場宏忠（MTB Design）

ウェブサイト <https://aichi-science.jp/>

aichi-science.jp ドメインでサイエンスコミュニケーション活動の情報集約・発信拠点としてウェブサイトを運用しています。各企画参加団体が入力したサイエンスイベント情報は、イベントごとの個別ウェブページとして表示。aichi-science.jp/0000 という簡潔な形式の URL が準備されますので、告知にも便利です。参加申込を受け付けるフォーム機能、CSVファイルを出力する参加者名簿機能、申込者に一斉にメールを送るリマインダメール機能などを搭載し、サイエンスイベントの運営を支援するウェブサイトとなっています。イベントが終了したあとは、開催報告文、写真、写真キャプションも掲載可能。このウェブサイトを見ると多くのサイエンスイベント情報を得ることができます。



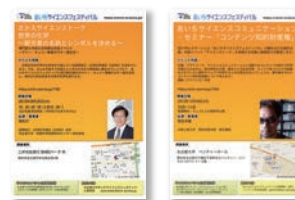
メールマガジン

aichi-science.jp ウェブサイトに登録されたサイエンスイベント参加企画の情報は、あいちサイエンスフェスティバルのメールマガジンに自動的に転載されます。年間を通じて原則毎週月曜日、さらにフェス会期中は毎日発行・配信しました。そのほか、必要に応じて随時、特別号も発行しています。メールマガジンは2013年度末現在で1023人が受信中。3人登録すると1名が解除というペースで1000名超の受信ですので、本当にサイエンスイベント情報を知りたい層に届いていると思われる。



簡易広報チラシ風PDF作成機能

あいちサイエンスフェスティバルのウェブサイトには、広報チラシを自動作成する機能が装備されています。各企画参加団体 ID ごとに準備されるマイページでサイエンスイベント参加企画の情報を入力し参加企画として成立すると、各イベント情報入力画面に「広報チラシ風PDF生成」ボタンが表示されます。このボタンを押すと登録された情報を自動で読み込み、地図が入った A4 版の簡易広報チラシができあがり。PDFファイルとして生成されますので、パーソナルプリンターで印刷できるほか、メール添付で送信も可能。そのまま印刷業者に渡してプロセス印刷の本格的なチラシとして完成させることもできます。



参加企画広報チラシ同梱発送サービス

フェス事務局発行の広報チラシは愛知県下の約300か所に発送しています。あいちサイエンスフェスティバルのウェブサイトに登録された参加企画の広報チラシを、この発送時に同梱して送付するサービスを実施しました。必ずしもタイムリーな同梱ができたわけではありませんが、各企画参加団体が独自に発送するコストを削減する効果、独自発送先とは違う層に情報が届く広報効果などがあります。

愛知県でサイエンス・コミュニケーション活動の輪を広げましょう

皆様のご協力をもって2011年にスタートしたあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークも運営3年目になりました。今年のネットワーク活動では、あいちサイエンスフェスティバル2014における空間的な実質3拠点化と、通年活動の時間的3拠点化が実現しました。フェス時期における3拠点化は名古屋、蒲郡、豊橋（11月）で展開。重点時期としての3拠点化は、あいち「国際植物の日」月間（5～6月）、あいちサイエンスフェスティバル2014（10～11月）、あいちサイエンスコミュニケーション体感week2014（3月）が実現しました。これらはJST科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」による活動でしたが、その支援期間3ケ年度は今年度で終了します。ですが、我々は2014年度もあいちサイエンスフェスティバルを開催する予定です。この3年間の成果を活かしさらに広めるために、これからも皆様の力が必要です。今後ともサイエンスを介して議論し交流する仲間を増やしましょう。愛知県内全域をサイエンスを介した議論と交流の場といたしましょう。ネットワーク18機関だけではなく、すべての愛知県民が参加できる活動を目指します。これからのネットワークにもご協力をお願い申し上げます。

あいちサイエンスフェスティバル運営責任者
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
（JST平成25年度科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」）
提案機関業務副担当者・運営機関業務担当者
名古屋大学 産学官連携推進本部連携推進部長・教授 武田 穰

収支報告

平成25年度決算案

区分	費目	種別	当初契約予算額(円)	変更契約は実施せず	決算額(円)	備考
支出	工器器具備品費		0		0	
		業務担当職員	5,100,000		5,100,000	運営機関コーディネーター
	人件費	補助者	0		0	
		社会保険料等事業主負担分	740,129		740,129	
		計	5,840,129		5,840,129	
		業務実施費	消耗品費	0		66,255
	国内旅費	410,540		310,114	委員、活動時ゲスト等	
	諸謝金	112,000		188,000	外部評価委員等	
	印刷製本費	345,814		811,230	広報チラシ等	
	雑役務費	1,698,400		1,258,275	ウェブ開発、デザイン・DTP、講演会場運営等	
	借損料	278,230		245,805	ウェブサーバ、機材レンタル等	
	通信運搬料	113,790		79,095	宅配便、メール便等	
	会議開催費	0		0		
	消費税相当額	292,006		292,006	人件費に係る消費税相当額	
	計	3,250,780		3,250,780		
一般管理費	一般管理費	909,090		909,090	コーディネーター交通費、事務局消耗品、ウェブ追加開発、報告書等	
合計		9,999,999		9,999,999		
収入	JST支援費	人件費	5,840,129		5,840,129	
		業務実施費	3,250,780		3,250,780	
		一般管理費	909,090		909,090	
	その他		0		0	
	合計		9,999,999		9,999,999	

ネットワーク委員会日程

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク実行委員会



2013年5月8日（水）：第1回実行委員会（於：三井住友銀行 SMBCパーク 栄）

2013年7月31日（水）：第1回運営委員会（於：名古屋大学）

2013年12月9日（月）：第2回実行委員会（於：名古屋大学）

2014年2月3日（月）：外部評価委員会（於：名古屋大学東京連絡所）

2014年2月10日（月）：第3回実行委員会（於：三井住友銀行 SMBCパーク 栄）

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

独立行政法人科学技術振興機構（JST）
 科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」
 あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの構築

実行委員会長 (提案機関)	松尾清一	国立大学法人名古屋大学	副総長 学術研究・産学官連携推進本部長	平成24年4月～平成26年3月
実行委員会長 (提案機関)	宮田隆司	国立大学法人名古屋大学	理事・副総長 産学官連携推進本部長	平成23年6月～平成24年3月
実行委員長 (提案機関・運営機関)	武田稷	国立大学法人名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 教授 地域連携・情報発信グループ グループリーダー	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (連携自治体)	加藤英樹	愛知県	産業労働部産業科学技術課 課長補佐	平成24年4月～平成26年3月
実行委員 (連携自治体)	浅野賢子	愛知県	産業労働部産業科学技術課 主事	平成25年4月～平成26年3月
実行委員 (連携自治体)	阿知波智司	愛知県	産業労働部新産業課 科学技術推進室 室長補佐	平成23年6月～平成24年3月
実行委員 (連携自治体)	肆矢勝弘	愛知県	産業労働部新産業課 科学技術推進室	平成23年6月～平成24年3月
実行委員 (連携自治体)	斎藤光生	愛知県	産業労働部産業科学技術課 主事	平成24年4月～平成25年3月
実行委員 (参加機関)	川勝博	学校法人名城大学	総合数理教育センター長・教授	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	谷口正明	学校法人名城大学	総合数理教育センター 准教授	平成25年4月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	中野裕美	国立大学法人豊橋技術科学大学	学長補佐・教授	平成24年4月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	宮田譲	国立大学法人豊橋技術科学大学	学長補佐・教授	平成23年6月～平成24年3月
実行委員 (参加機関)	水野みか子	公立大学法人名古屋市立大学	学長補佐・芸術工学研究科教授	平成24年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	鈴木賢一	公立大学法人名古屋市立大学	学長補佐・芸術工学研究科教授	平成23年6月～平成24年3月
実行委員 (参加機関)	横山清子	公立大学法人名古屋市立大学	学長補佐・芸術工学研究科教授	平成24年4月～平成24年5月
実行委員 (参加機関)	尾坂知江子	名古屋科学館	学芸課学芸係・主任学芸員	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	黒邊雅実	名古屋市東山総合公園	東山動物園 副園長・教育普及主幹	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	和泉涼子	名古屋市東山総合公園	東山植物園 指導園芸係長	平成25年4月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	中村成利	名古屋市東山総合公園	東山植物園 指導園芸係長	平成23年6月～平成24年3月
実行委員 (参加機関)	堀江和臣	名古屋市東山総合公園	東山植物園 指導園芸係長	平成24年4月～平成25年3月
実行委員 (参加機関)	山中敦子	蒲郡市生命の海科学館	学芸員	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	長谷川道明	豊橋市自然史博物館	学芸専門員	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	高野智	財団法人日本モンキーセンター	附属博物館世界サル類動物園・主任学芸員	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	木村雅人	トヨタテクノミュージアム産業技術記念館	学芸企画グループ リーダー	平成24年4月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	広野透	トヨタテクノミュージアム産業技術記念館	自動車グループ長	平成24年4月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	足立ゆうじ	学校法人同朋学園 名古屋造形大学	イラストレーションデザインコース専任講師	平成24年4月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	石川隆司	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 名古屋空港飛行研究拠点	航空本部 参与	平成24年4月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	倉田智子	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 基礎生物学研究所	広報室 特任助教	平成24年7月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	杉森順子	学校法人電波学園 愛知工科大学	工学部情報メディア学科 准教授	平成24年7月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	落合洋文	学校法人滝川学園 名古屋文理大学	基礎教育センター長・教授	平成25年5月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	内木幸宏	三井住友銀行 SMBC パーク 栄	支配人	平成25年6月～平成26年3月
実行委員 (参加機関)	藤島芳昭	公益財団法人 愛知公園協会 愛知こどもの国	所長	平成25年9月～平成26年3月
実行委員 (運営機関)	藤吉隆雄	国立大学法人名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 特任助教	平成23年6月～平成26年3月
実行委員 (運営機関)	戸次真一郎	国立大学法人名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーター	平成23年6月～平成26年3月

※所属機関等の名称、職名は在任最終日付のもの

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク外部評価委員会

外部評価委員	高田邦昭	国立大学法人群馬大学	学長	
外部評価委員	福水健文	日本アルコール販売株式会社	代表取締役 副社長	(独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構 元副理事長 / 中小企業庁 元長官)
外部評価委員	縣秀彦	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台	天文情報センター 准教授	(第4回東京国際科学フェスティバル実行委員長 / 日本サイエンスコミュニケーション協会副会長)
外部評価委員	佐々義子	NPO法人くらしとバイオプラザ21	常務理事	

あいちサイエンスフェスティバル2013 実施報告書

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク平成25年度事業報告書

発行：2014年3月31日

発行責任者	武田稷	国立大学法人名古屋大学
編集	藤吉隆雄	国立大学法人名古屋大学
デザイン・DTP	松場宏忠	MTB Design
印刷		ニッコアイエム株式会社